生活芸術学科科目

授業科目名	右上表示	授業科目名	右上表示
衣材料学	生芸-1	住居安全情報論	生芸-31
衣材料学演習	生芸-2	建築保存再生論	生芸-32
染色加工学	生芸-3	住居マネジメント	生芸-33
衣整理学(テキスト)	生芸-4(1)	住居環境学（テキスト）	生芸-34(1)
衣整理学(前期エニタイムスクーリング)	生芸-4(2)	住居環境学（後期土曜スクーリング）	生芸-34(2)
衣整理学(後期エニタイムスクーリング)	生芸-4(3)	住居設備学	生芸-35
衣整理学演習	生芸-5	まちづくり論	生芸-36
衣造形学	生芸-6	建築計画論	生芸-37
衣造形実習Ⅰ(夏期スクーリング)	生芸-7(1)	インテリア計画論	生芸-38
衣造形実習Ⅰ(集中スクーリング)	生芸-7(2)	建築法規	生芸-39
衣造形実習Ⅱ(夏期スクーリング)	生芸-8(1)	住居製図	生芸-40
衣造形実習Ⅱ(集中スクーリング)	生芸-8(2)	住居設計Ⅰ	生芸-41
アパレルデザイン論	生芸-9	住居設計Ⅱ	生芸-42
ユニバーサルデザイン論	生芸-10	コンピュータデザイン	生芸-43
色彩学	生芸-11	インテリアデザイン演習	生芸-44
色彩学演習	生芸-12	力と形	生芸-45
衣環境学	生芸-13	住居構造	生芸-46
色彩環境論	生芸-14	構造力学	生芸-47
日本服飾文化史	生芸-15	建築・インテリア材料	生芸-48
西洋服飾文化史	生芸-16	建築施工	生芸-49
生活文化論	生芸-17	住居学特講	生芸-50
服飾美学	生芸-18	児童学概論	生芸-51
生活デザイン論	生芸-19	食物学概論	生芸-52
服飾・文化系特別講義	生芸-20	衣生活学概論	生芸-53
アパレルのための品質管理	生芸-21	住居学概論(テキスト)	生芸-54(1)
アパレル品質管理ケーススタディ(基礎)	生芸-22	住居学概論(後期エニタイムスクーリング)	生芸-54(2)
アパレル品質管理ケーススタディ(応用)	生芸-23	家庭管理概論	生芸-55
流通・消費系特別講義	生芸-24	家族関係論	生芸-56
マーケティング論	生芸-25	調理基礎	生芸-57
消費生活論	生芸-26	調理基礎実習(夏期スクーリング)	生芸-58(1)
住生活学	生芸-27	調理基礎実習(後期土曜スクーリング)	生芸-58(2)
住宅問題・政策	生芸-28	調理基礎実習(集中スクーリング)	生芸-58(3)
住居史	生芸-29	衣服実習(夏期スクーリング)	生芸-59(1)
福祉環境論	生芸-30	衣服実習(後期土曜スクーリング)	生芸-59(2)

衣材料学（テキスト）

担当教員：池田　綾子

１年次～　必修２単位　**〖繊維製品品質管理士〗**　　**テキスト科目／2026 年度**

概要

衣服を構成する材料は、基本的に繊維から作られる。「衣材料学」では、衣服を構成する材料、すなわち繊維、糸、布などに関して、それぞれの生産プロセスを踏まえ、その構造と性質を習得する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

1. 繊維の種類（分類を含む）・構造と性質について説明できる。
2. 糸の種類・構造と性質について説明できる。
3. 布の種類（織物、ニット、不織布など）・構造と性質について説明できる。

学習の進め方

1. まず最初に「学習の手引」を必ず読み、「学習の手引」を参考に、テキストに沿って、章ごとに学習を進める。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキストで確認し、構想をまとめる。リポート課題に付されている注意（ねらい、アドバイス）などもよく読むこと。
3. 科目修了試験はリポート課題に関連した章以外からも出題されるので、テキスト全体をよく理解すること（第 5、6 章は除く）。

『衣服材料の科学』（旧テキスト）の場合（第 5～7 章は除く）

内容

1. 繊維の構造と繊維の性質、繊維の分類
2. 天然繊維の種類と特徴
3. 再生繊維の種類と特徴、半合成繊維の種類と特徴
4. 合成繊維の種類と特徴
5. 糸の種類と製法(1)：紡績糸（綿糸、梳毛糸と紡毛糸）
6. 糸の種類と製法(2)：フィラメント糸、加工糸、複合糸など
7. 番手、撚り、糸の性質など
8. 布の分類、製織のプロセス、織物の分類
9. 織物組織（基本組織、変化組織）と組織図、織物と構成因子
10. 重ね組織、添毛組織、からみ組織など
11. 編物の分類（たて編、よこ編）、編物の基本編目
12. 編物と織物の構造と性質についての相違点
13. 不織布について（分類、製法、性質、用途）、その他の布（皮革、レース、組物など）
14. 布の力学的性質：強度特性、外観特性など
15. 布の水分特性、快適性に関する性質など

テキスト・参考書

①テキスト　衣服材料学　平井郁子　松梨久仁子編　朝倉書店 2020、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書
(1) 衣服材料の科学　島崎恒藏編　建帛社 2009
(2) アパレル素材論　文化服装学院編　文化出版局 2001
(3) 業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座　繊維学会監修　ファイバー・ジャパン 2016
(4) 新稿 被服材料学－概説と実験－　中島利誠編著　光生館 2010
(5) はじめて学ぶ繊維　信州大学繊維学部編　日刊工業新聞社 2011
(6) 知っておきたい繊維の知識 524　日本繊維技術士センター　ダイセン 2019

成績評価

①リポート　課題の理解 60%、ねらい・アドバイスの活用 20%、リポートとしての完成度 20%

②科目修了試験　筆記試験における各問の配点をもとに合計点で評価する。ただし、1 問でも 0 点の場合は、不合格にすることもある。

衣材料学演習（夏期スクーリング）

担当教員：松梨　久仁子

２年次～　選択必修２単位　〖**繊維製品品質管理士**〗　**スクーリング科目／2026 年度**

概要

①衣服の材料である繊維、糸および布（織物・編物・不織布など）について、その種類、成り立ち、特徴などの解説を行う。
②それぞれの項目に対応した演習を行う。
③これらの演習を通して、テキスト科目で学習している内容についての理解を深める。

授業の方法

【面接】
それぞれの内容について、講義および実験を行う。実験については、レポート課題を提出する。
最終日の確認試験と解説により内容について理解を深める。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①繊維および衣服材料の基礎知識を身につける。
②素材の性能を有効に活用することができる。
③それぞれの用途に適した衣服材料の選択ができる。

授業計画

1. ガイダンス
2. 布の成り立ち
3. 繊維について
4. 繊維の採取
5. 顕微鏡による繊維の形態観察①
6. 顕微鏡による繊維の形態観察②
7. 繊維の燃焼性試験
8. 糸について
9. 糸の番手、糸のより方向、合糸数
10. 布について（織物、編物、フェルト、不織布）
11. 織物組織（組織図）
12. 布の構成要素
13. 織物の製作（たて糸とよこ糸の交錯状態を知る）
14. フェルトの製作（羊毛の性質を知る）
15. ５日間のまとめ

詳細は、初日にプリントを配布する。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
繊維の種類と布の種類について、事前に教科書を読んでおく（最低２時間）。受講中の復習・予習を行う（毎日１時間程度）。

②使用教科書　衣服材料学実験　松梨久仁子・平井郁子編著　朝倉書店　2022
衣服材料学　平井郁子・松梨久仁子　朝倉書店　2020
ほかにプリント配布

③参考書　衣服材料の科学　島崎恒蔵編著　建帛社　2009

④用意するもの　白衣（なければエプロンでも可）

⑤成績評価　授業への意欲 20%、レポート（翌日提出、配布した用紙を使用）30%、スクーリング最終日に行う筆記試験 50%

⑥学生へのメッセージ　①スライド資料は前日または当日に manaba にて配信します。必要に応じて印刷してください。
②授業中に配信資料を見るための PC・タブレットの持ち込みを可とします（試験中は持ち込み不可）。

⑦追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を 20 名までとする

染色加工学（テキスト）

担当教員：榎本　一郎

２年次～　選択必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

物の色がどのように見え、糸や生地がどのように染められるのかについて学ぶ。色材（染料・顔料）と繊維がどのように結合すると色落ちしにくくなるのか、糸で染めるのか布で染めるのか、生地全体を染めるのか部分的に染める（図柄）のかなど、染色方法や染色前の処理について学ぶ。染色後は、乾燥およびしわの付いた生地や縮んだ生地を元の状態にする仕上げ加工に加え、濡れても水をはじくはっ水加工や、菌の増殖を防いでにおいの発生を防止する抗菌消臭加工など、特定の機能を付与する機能性加工がある。ここでは、これら染色および加工について学習する。

授業の方法

【印刷教材等】テキストを熟読して各自理解を深める。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①なぜ色が見えるのかを理解する。
②色材の種類と素材との関連を理解する。
③仕上げ加工および機能性加工について理解を深める。

学習の進め方

テキストの染色加工を一読して染色とは何かを大まかに把握し、学習を進める過程で不明な個所が出てきた場合は、適宜参考書にあたり理解を深める。

内容

1. 光と色
2. 染色に必要な染料、薬剤、水
3. 前処理工程
4. 各種合成染料
5. 各種染料の染着機構
6. 染色条件
7. 染色の方法
8. 天然染料による染色
9. 日本の伝統染織
10. 変退色が起こる要因
11. 染色堅ろう度
12. 色に関わるトラブルークレームとは-
13. 色に関わるトラブル-各種事例-
14. 仕上げ加工
15. 機能性加工

テキスト・参考書

①テキスト　染色加工学　日本衣料管理協会編　日本衣料管理協会　2020

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座　日本繊維技術士センター編　繊維社　2016
②「染色」って何？ーやさしい染色の化学ー　繊維応用技術研究会編　上甲恭平著　繊維社　2012
③学振版染色機能加工要論　日本学術振興会繊維・高分子機能加工第 120 委員会編　色染社　2004
④JIS ハンドブック　31 繊維（2025）　日本規格協会編 日本規格協会

成績評価

①リポート　課題の理解度 50%、学習成果 30%、リポートの完成度 20%
②科目修了試験　知識 40%、理解 30%、論理性 30%　1 問でも無回答又は 0 点の場合、不合格となる場合がある。

その他

店頭に並ぶお気に入りの衣服を見つけたら、どのような素材で作られているか品質表示を見てください。ポリエステル繊維だったら何染料で染められているか、綿繊維だったら何と、興味を持って観察すると学習が楽しくなると思います。

衣整理学（テキスト）

担当教員：大塚　美香

２年次～　必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

衣類を使用・着用するにあたり、手入れや管理は欠くことができない。この科目では、洗剤、洗濯、商業クリーニング、仕上げ加工などの被服整理に関する内容について専門的に学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①洗浄理論を理解し、洗たくの実際について理解を深める。
②漂白、しみ抜き、仕上げ、保管、廃棄などについて理解する。

学習の進め方

最初に、テキストの「第１章　被服の汚れ」と「第２章　洗濯用水と衣料用洗剤」を理解すること。次に、「第３章　洗剤の成分と洗浄作用」を勉強するとよい。さらに「第８章　漂白と増白」「第 10 章　糊つけと仕上げ」を学ぶことで、家庭洗濯で行われていることが科学的に理解できる。教科書を学修し、不明点は、学習の手引き、専門書などを使って補完する事。

内容

1. 衣服の汚れ
2. 洗濯用水と衣料用洗剤
3. 洗剤の成分と洗浄作用
4. 洗濯機
5. 家庭洗濯
6. 洗浄力の試験法と評価
7. 機械作用の試験法と評価
8. 漂白と増白
9. しみ抜き
10. 糊つけと仕上げ
11. 衣服の保管
12. 商業洗濯
13. 取り扱い表示
14. 衣類の廃棄とリサイクル
15. 繊維製品の品質表示

テキスト・参考書

①テキスト　改訂　被服整理学　日本衣料管理協会、学習の手引
2022 年度より教科書が変更になっているので注意すること。

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①被服管理学　朝倉書店　2021
②被服整理学　日本女子大　2010
③被服整理学　日本衣料管理協会　2008
④衣服管理の科学　片山倫子他　建帛社　2002

成績評価

①リポート　課題に沿った内容 60%、発展的な内容 10%、読みやすい構成 30%
②科目修了試験　全体を 100 点とし、課題に的確に回答しているかを、文章の構成とキーワードの有無で評価する。

その他

日常生活での衣類の洗濯、管理などと結び付けて理解をすること。

衣整理学（前期エニタイムスクーリング）

担当教員：大塚　美香

２年次～　必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　　スクーリング科目／2026 年度

概要

衣類を使用・着用するにあたり、手入れや管理は欠くことができない。この科目では、洗剤、洗濯、商業クリーニング、仕上げ加工などの被服整理に関する内容について専門的に学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用)】
講義動画を視聴し指定の教科書の該当部分を読んだ上で、各回の確認テストを受験する。レポートは５課題とし、期日までに提出することが必要である。最終週にまとめのテストを受験すること。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①洗浄理論を理解し、洗たくの実際について理解を深める。
②漂白、しみ抜き、仕上げ、保管、廃棄などについて理解する。

授業計画

Week１
1. 被服の汚れ①
2. 被服の汚れ②
3. 被服の洗浄①（レポート１）

Week 2
4. 洗浄メカニズム①
5. 洗浄メカニズム②（レポート２）
6. 被服の洗浄②

Week 3
7. 被服の洗浄③（レポート３）
8. 洗浄試験と評価
9. 被服の洗浄④

Week 4
10. 漂白と増白（レポート４）
11. しみ抜き
12. 仕上げ

Week 5
13. 被服の保管
14. 繊維製品と環境問題（レポート５）
15. まとめのテスト

まとめのテストは授業最終週に manaba にて行う。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
授業前に教科書を読んでおく。30 分から 1 時間程度。
事前課題　特になし

②使用教科書
生活科学テキストシリーズ 被服管理学　朝倉書店（2012）

③参考書
①改訂被服整理学　日本衣料管理協会（2017）
②被服整理学　日本女子大学（2010）
③被服整理学　日本衣料管理協会（2008）
④衣服管理の科学　片山倫子他　建帛社（2002）

④持参（準備）するもの
教科書、筆記用具

⑤成績評価
レポート 70%、確認テスト 10%、まとめのテスト 20%　（未提出がある場合は、単位を認めない）
尚、講義動画、指定教科書をきちんと確認した上で、レポート課題を作成すること。明らかに講義動画を見ていない、指定教科書を読まないで作成されたレポートであると判断した場合には、不合格とすることがある。

⑥学生へのメッセージ

日常生活での衣類の洗濯、管理などと結び付けて理解をすること。

指定教科書は、2023 年度よりテキスト科目の「衣整理学」で使用している教科書とは違う本なので注意すること。

⑦追試験

対象外科目

衣整理学（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：大塚　美香

２年次～　必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　　スクーリング科目／2026 年度

概要

衣類を使用・着用するにあたり、手入れや管理は欠くことができない。この科目では、洗剤、洗濯、商業クリーニング、仕上げ加工などの被服整理に関する内容について専門的に学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用)】
講義動画を視聴し指定の教科書の該当部分を読んだ上で、各回の確認テストを受験する。レポートは５課題とし、期日までに提出することが必要である。最終週にまとめのテストを受験すること。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①洗浄理論を理解し、洗たくの実際について理解を深める。
②漂白、しみ抜き、仕上げ、保管、廃棄などについて理解する。

授業計画

Week１
1. 被服の汚れ①
2. 被服の汚れ②
3. 被服の洗浄①（レポート１）

Week 2
4. 洗浄メカニズム①
5. 洗浄メカニズム②（レポート２）
6. 被服の洗浄②

Week 3
7. 被服の洗浄③（レポート３）
8. 洗浄試験と評価
9. 被服の洗浄④

Week 4
10. 漂白と増白（レポート４）
11. しみ抜き
12. 仕上げ

Week 5
13. 被服の保管
14. 繊維製品と環境問題（レポート５）
15. まとめのテスト

まとめのテストは授業最終週に manaba にて行う。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
授業前に教科書を読んでおく。30 分から 1 時間程度。
事前課題　特になし

②使用教科書
生活科学テキストシリーズ 被服管理学　朝倉書店(2012)

③参考書
①改訂被服整理学　日本衣料管理協会（2017）
②被服整理学　日本女子大学（2010）
③被服整理学　日本衣料管理協会（2008）
④衣服管理の科学　片山倫子他　建帛社（2002）

④持参（準備）するもの
教科書、筆記用具

⑤成績評価
レポート 70%、確認テスト 10%、まとめのテスト 20%　（未提出がある場合は、単位を認めない）
尚、講義動画、指定教科書をきちんと確認した上で、レポート課題を作成すること。明らかに講義動画を見ていない、指定教科書を読まないで作成されたレポートであると判断した場合には、不合格とすることがある。

⑥学生へのメッセージ

日常生活での衣類の洗濯、管理などと結び付けて理解をすること。

指定教科書は、2023 年度よりテキスト科目の「衣整理学」で使用している教科書とは違う本なので注意すること。

⑦追試験

対象外科目

衣整理学演習（夏期スクーリング）

担当教員：大塚　美香

２年次～　選択必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

界面活性剤やアイロンなどの実験、手洗い洗濯やしみ抜きの実習など、実際に現象を確認することにより、テキスト科目「衣整理学」で学んだ、汚れの洗浄理論や漂白メカニズムなどの理解を深める。さらに、映像なども見ながら、衣整理学と洗剤や漂白剤などの生活用品とのかかわりを知る。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

①洗剤の表示と主成分である界面活性剤の働きを理解する。
②洗浄のメカニズムを理解する。
③衣整理学と生活用品とのかかわりを知る。

授業計画

1. 界面活性剤についての理解
2. タンパク質汚れの検出（実験）
3. 界面活性剤の性質と作用（実験）
4. 洗濯に適した水について（実験）
5. 表面張力の測定（実験）
6. 繊維の吸水性について（デモンストレーション）
7. 洗浄力試験（実験）
8. 再汚染防止作用について（実験）
9. 漂白剤の効果と影響（実験）
10. 染色実習（実習）

11a. アイロンの使用法（任意で実習）
11b. アイロン寸法変化率試験（実験）

12. 衣類の糊付け
13. 繊維製品の表示と洗濯方法の検討
14. しみ抜き（実習）
15. まとめ

※実験や実習の内容や順番は変更することがある。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に配布するテキストを読んでくること。

事前課題

テキスト科目・エニタイムスクーリング「衣整理学」を受講している者は、テキスト『被服管理学』の関連箇所に目を通しておくこと。

②使用教科書

事前に使用テキストを配布する。

③参考書

生活科学テキストシリーズ 被服管理学　朝倉書店　2021
改訂被服整理学　日本衣料管理協会　2017

④持参（準備）するもの

教科書、筆記用具、エプロンもしくは白衣（実習時）

⑤成績評価

実験および課題リポート 80%　小テスト 20%

⑥学生へのメッセージ

テキスト科目・エニタイムスクーリング「衣整理学」を受講して興味を持った者は、この演習を受講し理解を深めてください。

⑦追試験

対象科目

特記事項　受講者数を 32 名までとする

衣造形学（テキスト）

担当教員：武本　歩未

２年次～　必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

衣服の設計・生産には、着衣基体としての人体の構造・形態、および人体の生理的・心理的な分野、また衣服素材や縫製に関する分野への総合的な知識が必要とされる。本科目では、被服構成のための人間因子である人体構造、体型、動作のとらえ方や衣服のパターン設計法、衣服素材と可縫性の問題、アパレル生産の工程について学習し、さまざまな社会的要請に対応できる衣服造形について学習する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ5

到達目標

①衣服に求められる性能について理解する。
②各種人体計測法を学び、人体の寸法、形態、動作の捉え方を理解する。
③人体と衣服パターンの関係を理解する。
④アパレル生産の工程と縫製の問題を理解する。

学習の進め方

1. 「学習の手引」を参考に、テキストの章ごとに学習を進める。
2. 「リポート課題」「ねらい」「アドバイス」を確認し、関係する箇所を重点的に学習し、重要なポイントをまとめる。
3. リポート合格の場合は、科目修了試験に向けて、「2」でまとめたことを中心に、テキスト全体の理解を深める。

内容

1. 衣服の機能・衣服に求められる特性
2. 人体の構造
3. 各種人体計測法と体型の差の捉え方
4. 人体形態と原型、動作と衣服設計
5. 身体状況と衣服パターン
6. デザインパターンへの展開
7. 主素材に求められる性能、副資材の種類と性能
8. 布地の立体化
9. 衣服の評価
10. 衣服生産の仕組み
11. 既製衣料サイズと工業用ボディ
12. プロダクトパターン―アパレル CAD による設計―
13. 衣服の生産－縫製準備－
14. 衣服の生産－縫製・仕上げ－
15. 縫製機器と縫製上の問題点

テキスト・参考書

①テキスト　①アパレル設計論 アパレル生産論　(一社) 日本衣料管理協会編　令和６年４月 第２版
②学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①衣服の百科事典　大塚美智子代表編集　丸善出版　2015
②アパレル設計実習・アパレル生産実習(一社) 日本衣料管理協会編　2019
③被服のための人間因子　間壁 治子　日本出版サービス　2005

成績評価

①リポート　課題の主旨の理解 60%　学習成果（応用的、発展的記述の有無）20%　リポートの完成度 20%

②科目修了試験　1）全２問各 50 点とし、合計点で評価する。
2）論述形式の出題とし、問題の主旨の理解 40%、知識 50%、論理性 10%の割合で評価する。

その他

リポートに図表を引用した場合、タイトル、出典をつけ、図表の内容について言及すること。また、リポートは項目を立てて整然と明瞭に記述する。

衣造形実習Ⅰ（夏期スクーリング）

担当教員：武本　歩未

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

ジャケットの製作を通して、衣服の構造、パターン、衣服素材、副資材、各種縫製用具・機器の取り扱い等を総合的に理解する。また、被服構成のための人体計測法について実習を通して学び、体型と衣服サイズの関係を理解する。さらに、職業用、工業用ミシンの操作、アパレル CAD システムのデモンストレーションを通し、生産のための衣服生産の工程についても学習する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ5

到達目標

１．人体計測法の基礎を理解することができる。
２．衣服の構造、縫製手順とその手法を理解することができる。

授業計画

1. 衣服製作のための人体計測
2. 縫製用具、機器（職業用ミシン、ロックミシン）の取り扱い
3. 胴部原型の理論・パターンの選定
4. パターンの補正（着丈・袖丈）・デザイン展開
5. 裁断
6. 印付け
7 芯地貼り
8. 縫い代の始末
9. 身頃（見返しを含む）の縫製
10. 袖の縫製
11. 衿付け・衿付けどまりの四つ止め・衿外回りの縫製
12. 袖付け
13. 裾、袖口の奥まつり・千鳥がけ
14. ボタンホール・ボタンつけ
15. アパレル CAD のデモンストレーション・着装評価、作品提出

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

- 授業内で行う手縫い（並縫い、一目落とし、奥まつり、千鳥がけ）を予習しておくこと（1 時間）。
- パターンは、初日に行う人体計測の結果から体型に合ったサイズを選定するが、普段着用しているジャケットの号数やサイズについても確認しておくこと。ジャケットパターンの準備のため、manaba よりバスト寸法に関する事前のアンケート調査を行う場合がある。(0.5 時間)
- 個人の進捗状況によっては、事後学習が必要となる場合がある。

②使用教科書　プリント教材を授業時に配付

③参考書　アパレル設計実習・アパレル生産実習(一社)日本衣料管理協会編　2019

④準備するもの　裁縫用具（手縫い針、糸切ばさみ、ピンクッション）は必ず持参すること。その他の裁縫用具（裁ちばさみ、方眼定規、文鎮、ルレット、チャコ等）は授業時間内に限り、貸し出し可能。パターン、生地、待ち針、芯地、しつけ糸、ミシン糸、工業用ボビンは配布する。

⑤成績評価　作品（70%）、授業態度、内容の理解度（30%）を総合して評価する。

⑥追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を 30 名までとする

衣造形実習Ⅰ（集中スクーリング）

担当教員：武本　歩未

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

ジャケット（1/2 縮尺サイズ）の製作を通して、衣服の構造、パターン、衣服素材、副資材、各種縫製用具・機器の取り扱い等を総合的に理解する。また、被服構成のための人体計測法を講義形式で学び、体型と衣服サイズの関係を理解する。さらに、職業用、工業用ミシンの操作、アパレル CAD システム等のデモンストレーションを通し、生産のための衣服生産の工程についても学習する。
【履修条件】ミシン（家庭用可）・アイロンを持っていること。その他用具については、下記「準備するもの」を参照。

授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ5

到達目標

１．人体計測法の基礎を理解することができる。
２．衣服の構造、縫製手順とその手法を理解することができる。

授業計画

オンデマンド型の授業とし、manaba より授業動画の URL を配信する。

1. 衣服製作のための人体計測
2. 縫製用具、機器（職業用ミシン、ロックミシン）の取り扱いの理解
3. 胴部原型の理論・パターンの理解
4. パターンの補正・デザイン展開の理解
5. 裁断
6. 印付け
7 芯地貼り
8. 縫い代の始末
9. 身頃（見返しを含む）の縫製
10. 袖の縫製
11. 衿付け・衿付けどまりの四つ止め・衿外回りの縫製
12. 袖付け
13. 裾、袖口の奥まつり・千鳥がけ
14. ボタンホール（工業用ミシンの紹介）・ボタンつけ
15. アパレル CAD のデモンストレーション、作品提出（指定された方法で作品の写真データを提出）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

- 授業内で行う手縫い（並縫い、一目落とし、奥まつり、千鳥がけ）を予習しておくこと（1 時間）。
- 普段着用しているジャケットの構造、縫製、始末等をよく観察しておくこと（0.5 時間）。

②使用教科書　プリント教材を授業時に配付

③参考書　アパレル設計実習・アパレル生産実習(一社)日本衣料管理協会編　2019

④準備するもの　縫製機器・用具（ミシン、アイロン、アイロンマット、アイロン用当て布、霧吹き、裁ちばさみ、方眼定規、ルレット、手縫い針、糸切ばさみ、ピンクッション）を用意すること。その他の用具、材料（プリント教材、パターン、生地、待ち針、芯地、しつけ糸、ミシン糸、チャコペーパー）は事前に自宅に送付する。ロックミシンを持っていると、尚良い。

⑤成績評価　作品（70%）、授業態度、内容の理解度（30%）を総合して評価する。

⑥追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を 30 名までとする

衣造形実習Ⅱ（夏期スクーリング）

担当教員：滝澤　愛

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

先ず平面製図法による原型製図と立体裁断法による原型作成のデモンストレーションを通して、体型の特徴の把握と製図の基礎、衣服の構成理論を学ぶ。更に、それら二つのパターン設計手法による衿、袖などのディテールの設計を理解した上で、様々なパターンの作成法・展開法・補正法などについて学習する。応用作品として、ワンピースを自らデザインし、起こしたデザイン画をもとに製図を行い、最終的にはトワル生地で組み立てた作品のプレゼンテーションを行う。この課題で、デザインの表現法とそのデザインに合ったパターン採取法を実践的に学ぶ。デザイン表現法として、ファッションドローイングの基礎を実習する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ5

到達目標

・衣服デザインの表現法、　・パターンメーキング技術の基礎的理解

授業計画

1. 平面製図によるブラウス・スローパ（文化式原型）の作成
2. 採寸・平面製図によるダーツの移動とデザイン展開
3. ファッションドローイングの実習
4. 平面製図によるブラウス・スローパ（文化式原型）の作成
5. 平面製図による衿の製図とデザイン展開
6. 平面製図による袖の製図の基礎とデザイン展開
7. タイトフィッティングによるダーツの移動とデザイン展開胴部スローパの作成（デモンストレーション）
8. 立体裁断による衿・袖の設計とデザイン展開（デモンストレーション）
9. 応用デザインの表現と平面製図
10. 応用デザインの平面製図
11. トワル（シーチング）布の裁断
12. 身頃の組立
13. その他のパーツの組立
14. デザイン修正・仕上げ・プレス
15. 作品のプレゼンテーション・評価

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前にデザインの参考になる図書を読み、また、店頭で売られているワンピースのデザインや素材、シルエット、丈、色、柄等を調査しておくこと。授業後は毎回最低１時間の学習を要する。

②使用教科書　誌上・パターン塾　Vol.4　ワンピース編　文化出版局編　文化出版局 MOOK シリーズ 2018 年
他にプリントを配付予定

③参考書　参考資料・サイト等はマナバに随時アップする。

④持参するもの　裁縫用具一式（具体的には初日に説明する）、筆記用具、シャープペンシル（0.5㎜か0.3㎜のもの）、分度器、コンパス、あて布（アイロン用）　【トワル布、製図用紙はこちらが準備いたします】

⑤成績評価　授業時間内の理解度と課題作品（ファーストパターンのトワル組み）およびそのプレゼンテーションにより総合的に評価する。具体的には自身の描いたデザイン画のパターン設計がいかに忠実に出来ているか、トワルの完成度などを評価する。

⑥学生へのメッセージ　「被服製作Ⅱ」を修得済みの場合は履修できない。

基礎知識・技術があり、登録時に「衣造形実習Ⅰ」を修得済であること。

授業で取り組むワンピース作品のために、最近、市場に出回っているワンピースのデザインや素材などを、予め調査しておくことが求められる。**【注意】本授業はパターン設計の基礎的技能修得を目的とした授業であり、本布による作品制作は行わない。**

⑦追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を 20 名までとする。登録時に「衣造形実習Ⅰ」を修得済であること。

衣造形実習Ⅱ（集中スクーリング）

担当教員：新井　千栄子

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

平面製図および立体裁断による原型の製作を通して、体型の特徴を把握し、衣服の構成理論を学ぶ。さらに、平面製図および立体裁断により衿、袖などのディテールの設計を理解した上で、衣服デザイン、衣服素材の効果と特性、パターン作成法、パターン補正法などについて学習する。応用作品としてワンピースをデザインし、そのデザイン画をもとに製図を行い、最終的にトワルで組み、デザインの表現法とパターン採取法を学ぶ。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ4

到達目標

衣服デザインの表現法とパターンメーキングの技術の基礎的理解

授業計画

1. 採寸・平面製図によるダーツの移動とデザイン展開
2. 平面製図によるブラウス・スローパ（文化式原型）の作成
3. 平面製図による衿の製図とデザイン展開
4. 平面製図による袖の製図の基礎とデザイン展開
5. タイトフィッティングによるダーツの移動とデザイン展開胴部スローパの作成（デモンストレーション）

6-7 自身が作製したいデザイン画を考えて、パターンに落とし込む

8-10 トワル（仮の生地）で縫製し、試作補正し、パターンに修正を加える応用デザインの表現と平面製図

11. 裁断
12. 身頃の組立
13. その他のパーツの組み立て
14. デザイン修正・仕上げ
15. 作品のプレゼンテーション・評価

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前にデザインの参考になる図書を読み、また、店頭で売られているワンピースのデザインや素材、シルエット、丈、色、柄等を調査しておくこと。授業後は毎回最低1時間の学習を要する。

②使用教科書　誌上・パターン塾　Vol.4　ワンピース編　文化出版局編　文化出版局 MOOK シリーズ　2018

③参考書　①パターンメーキング技術検定試験３級ガイドブック　財団法人日本ファッション教育振興協会　1997
②アパレル設計実習アパレル生産実習　一般社団法人日本衣料管理協会　2019

④持参するもの　裁縫用具一式（具体的には初日に説明する）、シャープペンシル（0.5㎜か0.3㎜のもの）

⑤成績評価　授業時間内の理解度と課題作品およびそのプレゼンテーションにより評価する。

⑥学生へのメッセージ　「被服製作Ⅱ」を修得済みの場合は履修できない。

基礎知識・技術があり、「衣造形実習Ⅰ」または「被服製作Ⅰ」の修得者が望ましい。

授業で取り組むワンピース作品のために、最近、市場に出回っているワンピースのデザインや素材などを、予め調査しておくことが求められる。

⑦追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を 20 名までとする。登録時に「衣造形実習Ⅰ」を修得済であること。

アパレルデザイン論（集中スクーリング）

担当教員：滝澤　愛

２年次～　選択２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

今日のファッションの源流を識り、文化的、科学的視点からアパレルデザインについて学ぶ。
先ずトレンド、デザインの発想源、シルエット、デザイン構成、カラー、素材などの服飾デザインにおける基礎知識を学習する。そしてファッションの発表の場であると同時にビジネスの場であるショーやファッションウィークについてを概説する。最後に現代のファッションの礎となった近・現代デザイナーの歴史とファッションデザインとについて理解を深める。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

アパレルデザインに関する種々の基礎知識、ファッションの歴史やアパレル業界の現状を学ぶことにより、アパレルデザイン理論の習得に加え、アパレルのこれからを考えて発想する視点が養われることを到達目標とする。

授業計画

【第１日】
1. トレンド・流行・流行色
2. ショー・展示会とファッションビジネスの世界
3. アパレルデザインの手法と流れ
4. 体型と衣服のプロポーション、カッティングライン
5. 服飾デザインの形態（シルエット）
6. 服飾デザインの形態（点と線の効果）

【第２日】
7. 服飾デザインの構成（各種コンポジション）
8. 錯視とデザイン、ディテールのデザイン
9. ファッションイメージとデザイン
10. 色とデザイン（シーズンカラー、色の感情効果とイメージ）
11. カラーコーディネーションとデザイン

【第３日】
12. 素材と柄、テキスタイルとデザイン
13. 近代～現代ファッション史とファッションデザイナー
14. ファッション業界の現状
15. デザインの力とアパレルのこれから

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
最新のファッション、トレンドの動向や服飾関係の時事問題だけで無く、道ゆく人の被服、美術館や博物館の所蔵品、建築…様々な事・もののデザインに対しても視野を広げてチェックしておいてください。各回、授業内容のデザイン課題を出します。
（毎回の課題に対する必要時間：1―2 時間程度）
事前課題　準備学習に同じ
②使用教科書　改訂 アパレルデザインの基礎　（一社）日本衣料管理協会
③参考書　特になし
④持参（準備）するもの　筆記用具、着色道具（色鉛筆など）
⑤成績評価　課題・レポートで評価する。
⑥学生へのメッセージ
アクティブラーニングで、ほぼ毎回、学んだ内容に対する課題を実践的に取り組んでもらい提出してもらいます。（絵が不得手でも全く問題ありません。）
⑦追試験　対象外科目

ユニバーサルデザイン論（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：田平　博嗣

２年次～　選択２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

高齢者、障がい者を含む生活者の安全、安心で自立した生活を実現することを目的に、様々な人間の特性に配慮して種々の生活製品や生活環境、サービスなどを設計し、普及することがユニバーサルデザイン（アクセシブルデザインと呼ぶこともある）の目標である。本科目では、そのための基本知識として人間工学、人間中心設計、ユニバーサルデザインの基本的な考え方や概要、ユニバーサルデザインのための基礎としての高齢者・障がい者の心身の特性やその計測方法、さらに、ユニバーサルデザインを普及するための様々な取り組みについて学ぶ。

大学１年レベルの学力を持つ者を対象とした本講義では、教養としてのユニバーサルデザインに関する一般的、基本的知識を学び、日常生活の中でユニバーサルデザインを意識し、工夫して生活できることをねらいとする。種々の職業従事者が現場で使える即戦力的な知識やスキルを獲得すること、より高度で専門的な知識を獲得することについては本講義の目標とはしない。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba 利用）】
講義動画を視聴する。小テストやリポートは期限内の提出が必須である。
講義動画資料に基づいたオンデマンド型遠隔授業とする。必要に応じて理解度確認のためのレポート課題を出題する。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3

到達目標

①ユニバーサルデザイン、人間工学、人間中心設計の基本的考え方を理解する。
②人間の形態、動作、感覚、認知等の心身の基本特性やこれらに関する高齢者・障がい者の特性、ならびにこれらの特性と設計との関連性について理解する。
③ユニバーサルデザインを普及する手段としての標準化活動やその他の主な社会の取り組みを理解する。

授業計画

以下の項目について動画および資料を manaba に掲載する。

1. ユニバーサルデザイン（UD）入門
2. UD と 7 つの原則
3. UD 実現のための手法（不便さ調査）
4. UD 実現のための手法（代替様式）
5. UD 実現のための手法（増幅様式）
6. UD 実現のための手法（視覚とその障害）
7. UD 実現のための手法（聴覚とその障害）
8. UD 実現のための手法（皮膚感覚と温熱感覚）
9. UD 実現のための手法（姿勢動作の障害）
10. UD 実現のための手法（認知機能の加齢変化）
11. UD 実現のための手法（高次脳機能障害と発達障害）
12. UD に関する社会の取り組み（国際標準化）
13. UD に関する社会の取り組み（国内の取り組み）
14. UD と人間工学・人間中心設計
15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間　予習は不要。毎回 1 時間程度の復習をしておくことが望ましい。
②使用教科書　特になし。講義動画資料に関連した PDF ファイルを manaba に掲載する。
③参考書　指定なし
④持参するもの　筆記用具およびノート
⑤成績評価　提出日を指定したレポート課題
⑥学生へのメッセージ　ユニバーサルデザインに関する基本的、基礎的な事柄を学びたい学生の受講を歓迎する。
⑦追試験　対象外科目

色彩学（テキスト）

担当教員：滝沢　真美

３年次～　選択必修２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

光学、科学、生理学、心理学など幅広い分野にまたがる色彩の基礎を学ぶ。教科書２冊を使って、色とは何か、視覚のメカニズム、色名、マンセル表色系と HUE&TONE システム、色彩心理、日本の色彩文化、カラーユニバーサルデザインの基礎知識を身につける。配色手法に関しては、テキスト科目である色彩学では対象とせず、色彩学演習で取り扱う。添削指導において、カラーコーディネートやマーケティングの専門家としての知見を活かしたい。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①マンセル表色系の成り立ち、構造、特徴の理解
②HUE&TONE システムのトーンの概念、システムの特徴の理解
③視覚のメカニズムとカラーユニバーサルデザインの関係性の理解
④色名の分類方法とカラーイメージ表現の理解
⑤日本の色彩文化の理解

学習の進め方

「学習の手引」に沿って、2 冊のテキストを熟読した後、リポート課題に着手すること。課題によっては、参考書を併用しながら、リポートを完成させること。科目修了試験に向けては、自分の選択したレポート課題以外からも出題するので、テキスト全体を深く理解しておくこと。色彩学演習との同時受講が望ましい。

内容

学習の手引の 2. 学習のガイドに沿って、学習を進めていくこと。教科書 1 は『生活の色彩学　快適な暮らしを求めて』、教科書 2 は『住宅インテリアのための実践カラーテクニック改訂版』を指す。

1. 導入（教科書 1 第 1 章　生活と色）
2. 色が見える仕組みとカラーユニバーサルデザイン（1－第 2 章光と色、第 3 章色の生理＋参考書カラーユニバーサルデザイン）
3. 色名（1－第 5 章　5.2 色名による色の表示、付表）
4. 代表的なカラーオーダーシステム（1－第 5 章 5.3 三属性による色の表示）
5. マンセル表色系（2－第 1 章 2 マンセル表色系）
6. HUE&TONE システム（2－第 1 章 3HUE&TONE システム）
7. 色の心理的効果（1－第 7 章 7.1 色の働き、7.2 色の視覚効果、7.3 色の感情効果）
8. カラーイメージ（2－第 4 章基本色とカラーイメージ＋第 6 章 1 イメージスケールの成り立ちと基本の 3 スケール）
9. 色と文化（1－第 9 章 9.2 日本の色彩文化＋参考書大江戸の色彩）
10. リポート作成　1～9 をすべて通読、理解した上でリポート課題に着手すること。全員必須のリポート課題 1 は教科書 2 を主に使って作成すること。リポート課題 2、4 を選択した場合は、下記の参考書も必ず読んで使用すること。

テキスト・参考書

①テキスト　1. 生活の色彩学　快適な暮らしを求めて　橋本令子・石原久代編著　滝沢真美他著　朝倉書店 2019
2. 住宅インテリアのための実践カラーテクニック改訂版　滝沢真美著　トーソー出版 2023、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書・参考資料サイト

課題２：　カラーユニバーサルデザイン　カラーユニバーサルデザイン機構　ハート出版　2009
https://www2.cudo.jp/wp/?p=2204
課題４：　大江戸の色彩　城一夫著　青幻舎　2017

成績評価

①リポート　全体を 100%として、課題の理解、「学習の手引」の活用、学生自身の学習成果、リポートの完成度をそれぞれ 25%ずつ評価する。

②科目修了試験　全4問で、各25点満点で、内容の完成度によって配点し、60点以上を合格とする。ただし、1問でも0点の場合は不合格とすることがある。

その他

レポートでビジュアルを使用する場合は、教科書を最優先とし、次に参考書とする。課題2のカラーユニバーサルデザインの改善前後の事例、課題3のパッケージ事例、課題4に関してはWEB画像の転載を認めるが、課題1はWEB画像の転載は不可とする。

色彩学演習（後期土曜スクーリング）

担当教員：滝沢　真美

３年次～　選択２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

マンセル体系に基づいた HUE&TONE システムと、色彩心理に基づき開発されたイメージスケールという 2 つのシステムを学ぶ。基本的な 6 つの配色テクニックを習得し、配色センスアップのスキルを身につける。ファッション、インテリアなど、分野に特有の基本色を理解する。イメージコンセプトに対する配色表現について理解する。カラーユニバーサルデザインの見地から視認性や可読性に優れた配色を理解する。グローバル社会の中で日本の色についても考えを深める。カラーコーディネートやマーケティングの専門家としての実践を活かした授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【面接遠隔（遠隔は同時双方向型（manaba, Zoom 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3　生芸ＤＰ4

到達目標

2 つのカラーシステムを理解し、実習を通して、生活に応用できる実践的な配色テクニックを習得し、目的に合った美しく快い配色ができるようになる。

授業計画

1. イントロダクション　授業の進め方と学生に求めるもの
2. 色を伝える方法　色名　（1 日目　面接）
3. マンセルカラーシステム
4. HUE&TONE システム（2 日目　遠隔 Zoom）
5. HUE&TONE システムの応用　1）嗜好色調査
6. HUE&TONE システムの応用　2）生活の基本色
7. コンセプトイメージと主な色の特徴（3 日目　面接）
8. 基本となる 6 つの配色テクニック
9. 配色実習 1 基本配色作成実習
10. 配色センスアップの方法（4 日目　遠隔 Zoom）
11. イメージスケールの成り立ちと基礎スケールの紹介
12. 配色実習 2　イメージ配色作成実習
13. 配色実習 3　イメージスケール作成実習（5 日目　面接）
14. 色が見える仕組みとカラーユニバーサルデザイン
15. 色彩文化と日本の色（6 日目　遠隔 Zoom）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

当日の課題が完成しなかった場合は、次回までに提出できるようにしておくこと。内容の理解が浅い部分を中心に復習すること。

②使用教科書　住宅インテリアのための実践カラーテクニック改訂版　滝沢真美著　トーソー出版 2024 年（色彩学指定教科書）
プリント教材併用

③参考書　①生活の色彩学　快適な暮らしを求めて　橋本令子・石原久代編著　朝倉書店　2019 年（色彩学指定教科書）
②カラーユニバーサルデザイン　CUDO　ハート出版　2009 年（色彩学参考書）
③配色手帳　増補・新版　監修：日本カラーデザイン研究所　玄光社　2021 年

④準備するもの　はさみ、スティックタイプののり

［使用教材］　新デザイン・トーン・130 シリーズ（スケール、B8 色紙、配色用色帯ロング台紙付き）プリント教材
両方とも第 1 回目の授業の際に教室にて配布。

⑤成績評価

3 日目を除く 5 回の課題を、1&5 日目を各 10 点、2&6 日目を各 20 点、4 日目を 40 点で配点し、合計 100 点で総合評価する。

⑥学生へのメッセージ

実習には色紙やワークシート等の教材を使用する。実習を中心に授業を進め、参加者同士の意見交換を行う。色彩学演習では色彩学のレポート課題の理解を深めるための実習を含んでおり、教科書も同じものを使うため、色彩学の履修登録を済ませておくことが望ましい。色彩学単位取得済の者は、復習的な内容が多くなることを理解した上で履修を決めること。

⑦追試験

対象外科目

特記事項　登録時に「色彩学」を修得済又は同一年度に登録済であること

衣環境学（テキスト）

担当教員：西原　直枝

２年次～　選択必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

生活の質を高める上で、衣服の果たす役割は大きい。「衣環境学」では、健康・安全・快適に生活を送る上で衣服がどのような役割や機能を持つのかについて、人体ー衣服ー環境の視点から検討する。衣服の着心地を科学的にとらえる力を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ5

到達目標

①衣服を着る意味や役割を理解する。
②環境に適合する衣服について理解する。
③着用者のライフステージや特性、着用場面などのさまざまなニーズに対して、健康・安全・快適の観点から、生活の質の向上に役立つ衣服を合理的に考えることができる。

学習の進め方

1. テキストを以下の[内容]に沿って読み、学習する。
2. リポート課題を確認し、テキストの関係する箇所を重点的に学習するとともに、参考書などを活用して理解を深める。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けて、テキストを中心に学習する。不合格の場合は、再度、リポートを作成する。
4. 科目修了試験の学習は、ポイントを押さえて簡潔に説明できるようにする。なお、テキストの第２章「4. 睡眠の生理」「5. 人体の構造と運動機構」、および第３章「(5) 温熱指標」については、科目修了試験範囲からは除く。

内容

1. 衣服を着る意味
2. 着衣関連の人体生理①体温調節・体熱産生と体熱放散
3. 着衣関連の人体生理②皮膚温・皮膚の生理と機能・発汗
4. 着衣関連の人体生理③人体の構造と運動機能
5. 温熱環境条件
6. 着衣の気候調節機能①被服気候
7. 着衣の気候調節機能②着衣の保温効果と測定・評価方法
8. 着衣の気候調節機能③着衣重量と保温効果
9. 動作機能と着衣
10. 着衣の汚染と安全性①清潔保持の機能
11. 着衣の汚染と安全性②身体を安全に保護する機能
12. 被服材料の衛生学的性能
13. 着用目的にあった衣服とその機能①防寒服・防暑服
14. 着用目的にあった衣服とその機能②ライフステージと衣服
15. 着用目的にあった衣服ととその機能③障がいと衣服

テキスト・参考書

① **テキスト**　被服衛生学（衣環境学テキスト）　大野静枝・多屋淑子 日本女子大学 1994

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② **参考書**　『リポート課題集』参照

成績評価

① **リポート**　課題の理解度 30%、学習成果 40%、リポートの完成度（引用の仕方の適切度も含む）30%

② **科目修了試験**

知識・理解 70%、論理性 30%とし、評価する。1 問でも無回答又は 0 点の場合、不合格となる場合がある。

その他

リポート作成にあたっては、テキストや参考文献などの書籍から得た情報をそのまま抜き書きするのではなく、自身で理解・整理し、課題内容に沿って文章化しまとめてください。

色彩環境論（夏期スクーリング）

担当教員：瀬川　かおり

１年次～　選択２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

色彩を生活の中で活用していくための基礎と応用について学ぶ。色の基礎として、色とは何か、色の呼び方、色の表し方、色の性質、などについて学ぶ。さらに、色を実際に活用する際に考慮すべき点として、色の視覚効果（対比、同化など）や色の心理効果（寒暖、進出後退、膨張収縮など）、さらに色の配色技法や色彩感情効果（印象、象徴など）を学び、生活環境や製品における色使いについて考える。
実環境における様々な例をあげながら、その特徴と背景となる色の原理を学ぶ。色彩がもたらす社会的問題（騒色、不快度）などについても考察する。

授業の方法

【面接】
各授業は面接授業で行います。授業後に理解度確認や疑問点等の小レポートを課します。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3

到達目標

①色の基本的知識を習得する。
②色の特性と使い方の特徴を学ぶ。
③環境における色彩活用の効果や役割を理解する。

授業計画

1. 色の活用例の概要
2. 色とは何か　（第１日）
3. 色名
4. 色の体系と表色系(1)：3 属性とマンセル表色系
5. 色の体系と表色系(2)：反対色と NCS 表色系
6. 色の体系と表色系(3)：トーンと PCCS 表色系（第２日）
7. 照明による色の見え
8. 色の視覚効果（残像、対比、同化など）　（第３日）
9. 色の心理効果、色の感情効果
10. 配色と調和、色彩調和論　（第４日）
11. 色の見えの個人差（高齢者の色覚、ユニバーサルデザインなど）
12. 環境と色彩（安全色、標識、騒色、快適性など）　（第５日）
13. 色の性質（3 色性、反対色性）
14. 混色（加法混色、減法混色）
15. まとめ　（第６日）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間　受講内容の予習・復習を最低１時間
②使用教科書　指定なし（プリントを配付する）
③参考書　カラーコーディネーター入門 色彩　改訂増補版，大井義雄・川崎秀昭　日本色彩研究所監修，日本色研事業，2007
④持参するもの　特になし
⑤成績評価　筆記試験(80%)及び授業後の小レポート(20%)
⑥学生へのメッセージ　本科目修得後、「色彩学演習」の受講が望ましい。
⑦追試験　対象科目

日本服飾文化史（前期エニタイムスクーリング）

担当教員：森　理恵

２年次～　選択必修２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

「衣」は人に装われてはじめて生活に密着し、生命の息吹が与えられる。したがって、服飾史を学ぶことはそれぞれの時代の文化や生活様式を学ぶことでもある。現存する服飾・染織資料を中心に、様々な資料を用いて日本の服飾の歴史を明らかにする。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用）】
講義動画を視聴する。小テストやリポートは期限内の提出が必須である。小テストの提出期限はスクーリング期間内の毎週水曜日正午を予定している。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

1　日本の服飾の歴史について理解し、説明できる
2　各時代を代表する服飾史の資料を挙げ、説明できる

授業計画

1. 服飾史の基礎資料について
2. 縄文時代の服飾
3. 弥生時代の服飾
4. 古墳時代の服飾
5. 飛鳥・奈良時代の服飾
6. 正倉院の染織
7. 平安時代の服飾
8. 鎌倉時代の服飾
9. 室町時代の服飾
10. 小袖服飾の成立
11. 安土桃山時代の服飾
12. 江戸時代の服飾
13. 明治大正時代の服飾
14. 昭和時代の服飾
15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
日本の服飾の歴史について関心を持つ。関連図書・論文を探して読み、博物館やそのウェブサイトで絵画資料や実物資料をよく観察する。疑問点、興味を持った点についてさらに調べる。これらの学修に 60 時間以上を要します。

事前課題　特になし

②使用教科書　なし

③参考書　日本服飾史、増田美子編、東京堂出版、2013 年。　図説日本服飾史事典、増田美子編、東京堂出版、2017 年。
※購入の必要はありません。図書館等でご覧ください。

④持参（準備）するもの　特になし

⑤成績評価　レポート（60%）および小テスト（40%）により評価する。

⑥学生へのメッセージ
各回、講義資料と課題を提示しますので、期日までに課題（小テスト）を提出してください。最後に修了レポートを課します。

⑦追試験
対象外科目

西洋服飾文化史（テキスト）

担当教員：内村　理奈

２年次～　選択必修２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

私たちを惹きつけてやまないファッションは、長い歴史の蓄積の上に成り立っている。現代活躍しているデザイナーたちも、歴史の中の服飾デザインに触発されたり、批評を加えたりしながら創作活動をしている。「西洋服飾文化史」では西洋の歴史上にあらわれた服飾事象を、多くの図像資料を参照しながら概観し、人間が紡いできた服飾文化の諸相への理解を深める。時代ごとの服飾文化の特色を理解するためには、図像資料の解釈が大切なのはもちろんだが、社会的・文化的背景についての洞察を踏まえた上で、服飾を捉えるという姿勢も大事にしたい

授業の方法

【印刷教材等】テキストをよく読み、課題に取り組む。

学位授与方針との関係

生芸 DP１　生芸 DP2

到達目標

西洋服飾文化の歴史的変遷を理解する。
それぞれの時代の歴史的背景や文化的背景との関連から服飾表現の特色を理解する。
服飾用語を理解し知識として身につける。

学習の進め方

1.　まず全体を一読し、服飾の変遷を理解した後に、各時代の服飾の特徴をとらえ、代表的な服飾表現についてまとめていく。特に服飾用語については、きちんと区別をして、具体的な図像資料とともにしっかり理解するようにする。
　①古代、②中世、③16 世紀、④17 世紀、⑤18 世紀、⑥19 世紀　⑦20 世紀
2. リポート課題を確認し、テーマに沿って、テキストの学習を行う。
3. リポート課題に適した参考文献を読解し、理解を深める。
4. リポートを作成し、指定の用紙で提出する。リポート作成の際には、文献からの引用に注を付すこと。
5. リポート合格の場合には、初めに作成したまとめを中心として、それぞれの時代の服飾を理解し、科目修了試験に向けて服飾用語やキーワードを確認し、各時代に特徴的な服飾をまとめておく。リポートが不合格の場合には、指摘された部分についての学習を行い、再度提出する。
6. 科目修了試験不合格の場合には、あらためて全体的な学習をおこなう。

内容

1. 古代 メソポタミア、エジプト
2. 古代 ギリシア、ローマ
3. 中世前期
4. 中世後期
5. 16 世紀前期
6. 16 世紀後期
7. 17 世紀前期
8. 17 世紀後期
9. 18 世紀前期
10. 18 世紀後期
11. 19 世紀前期
12. 19 世紀後期
13. 20 世紀前期
14. 20 世紀後期
15. まとめ

① **テキスト**　増補新装 カラー版 世界服飾史　深井晃子監修　美術出版社　2010、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② **参考書**　『リポート課題集』参照のこと。

成績評価

① **リポート**　課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、リポートの完成度 30%

② **科目修了試験**　服飾用語の知識 50%、服飾史の全体的な理解 40%、論理性 10%

その他

なじみのない服飾用語が出てきますが、それぞれの時代の服飾をまとめて、その特色を確実に説明できるように理解してください。そのためには、ふだんから参考書や、画集や美術全集などを手に取って、図像資料をなるべく多く見ることも必要です。テキストにもオールカラーの図像資料がついています。その後、時代の特色をとらえて、論理的に説明できるようにすることが大切です。

生活文化論（テキスト）

担当教員：米今　由希子

１年次～　選択２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

人間の日常生活において、衣食住の占める位置は大きい。衣食住は、単に生きるための手段ではなく、さまざまな文化の担い手ともなっている。このような立場から、民族および世界と日本の特徴的な生活文化をとりあげ、その民族や時代の住居、衣服、食物を横断的に捉えて人々の生活と文化について理解する。また、生活文化と、気候風土などの地理的特徴や民族、宗教などの歴史的背景との関わりを考察し理解を深める。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①民族による生活文化の特徴とその背景を理解する。
②日本の生活文化について、変遷と時代ごとの特徴およびその背景を理解する。
③欧米の生活文化について、変遷と時代ごとの特徴およびその背景を理解する。

学習の進め方

テキストを一読し、章ごとにそれぞれの時代の生活文化の特徴と生活の変遷をおおよそ理解した後、各時代の生活文化を参考文献と学習の手引も参照しながらポイントをまとめる。リポート課題を確認し、課題に適した参考文献によりさらに学習を深める。課題１はテキスト２章を中心に検討し、課題２はテキスト５、7、8、11 章、課題３はテキスト３、4、6、9、10、12、13、14、15 章から興味のある時代を一つ取り上げ検討する。リポート合格後は科目修了試験に向けてそれぞれの項をまんべんなく深く理解し、知識を整理しておくこと。

内容

1. 生活文化と民族
2. 貴族の生活１（平安時代）
3. 武家の生活（室町・安土桃山時代）
4. 貴族の生活２（ヨーロッパ 18 世紀）
5. 市民の生活１（江戸時代）
6. 市民の生活２（ヨーロッパ 19 世紀）
7. 市民の生活３（アメリカ 19 世紀）
8. 明治の生活文化１
9. 明治の生活文化２
10. 新しい造形（ヨーロッパ 20 世紀）
11. 大正ロマンの世界
12. 昭和のモダニズム
13. 流行は世界に（20 世紀後半）
14. 21 世紀の生活文化
15. まとめ

テキスト・参考書

①テキスト　生活文化論　朝倉書店 2002、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　『リポート課題集』参照

成績評価

①リポート　課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、リポートの完成度 30%
②科目修了試験　知識 50%、理解 30%、論理性 20%

その他

西洋と日本の生活文化が出てきますが、いずれも現代につながる文化です。どのような場面でこれらの文化を目にすることができるのか考えてみてください。また、関連の展覧会等を積極的に鑑賞してください。

服飾美学（テキスト）

担当教員：内村　理奈

２年次～　選択２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

服飾美学とは、服飾に託された人間の美意識や生活感情を読み解き、服飾のもつ社会的・文化的意味や機能を考察する学問である。服飾は、私たちが思っている以上に、人の感情を揺さぶり、高揚させ、生き方をも変え、そして、時代を突き動かす力にさえなる。服飾には、その時代の社会や文化の有り様が反映されている。「服飾美学」では、歴史上の西洋服飾を中心とする事例を取り上げ、文献資料や図像資料をもとに、服飾のもつ多彩な意味や表象を、同時代の社会・文化との関わりから読み解く。

授業の方法

【印刷教材等】テキストをよく読み、課題に取り組む。

学位授与方針との関係

生芸 DP１　生芸 DP２

到達目標

様々な文献資料（主に文学作品）や図像資料に見られる服飾描写や服飾表現から、そこに託された人間の感情や美意識を読み解き、服飾のもつ社会的・文化的意味や機能について考察できること。また服飾を通して、同時代の社会や文化の意味を考察できること。

学習の進め方

1. まず全体を一読し理解した後に、各部の内容についてまとめていく。①第１部 感覚、②第２部 ジェンダー、③第３部 エチケット、④第４部 フィクション
2. リポート課題を確認し、テーマに沿って、テキストの学習を行う。
3. リポート課題に適した参考文献を読解し、理解を深める。
4. リポートを作成し、指定の用紙で提出する。リポート作成の際には、文献からの引用に注を付すこと。
5. リポート合格の場合には、初めに作成したまとめを中心として、自分なりの視点で服飾表現について考えられるようにしておく。また、服飾表現の意味を考察する際の、文献資料と図像資料の扱い方について、理解を深めておく。科目修了試験に向けて準備を進め、リポートが不合格の場合には、指摘された部分の学習を行い、再度提出する。
6. 科目修了試験不合格の場合には、改めて全体的な学習を行う。

内容

1. イントロダクション
2. 服飾と清潔感①白い下着
3. 服飾と清潔感②肌の白さのアピール
4. 服飾と清潔感③漂白技法
5. 服飾と清潔感④清潔のヒエラルキー
6. 服飾とふるまい①帽子に見られるジェンダー
7. 服飾とふるまい②脱帽、帽子の喜劇
8. 服飾とふるまい③帽子の挨拶
9. 服飾とエチケット①服装規範
10. 服飾とエチケット②恋愛感情を表す
11. 服飾とエチケット③エチケットと異国趣味
12. 服飾とエチケット④エチケット違反のファッション
13. 服飾と文学①ツワイク『マリー・アントワネット』より
14. 服飾と文学②ミッチェル『風と共に去りぬ』より
15. まとめ

テキスト・参考書

①テキスト　ヨーロッパ服飾物語　内村理奈　北樹出版　2016

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　『リポート課題集』参照のこと。

成績評価

①リポート　課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、リポートの完成度 30%

②科目修了試験　知識 50%、理解 40%、論理性 10%

その他

「西洋服飾文化史」修得後の履修が望ましいです。参考文献としてあげている文献をできるだけ読んでください。また、多くの図像資料や服飾遺品に触れるために、美術館や博物館にも足を運んで見学しましょう。

生活デザイン論（テキスト）

担当教員：米今　由希子

１年次～　選択必修２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

デザインとは何か、を考えるにあたって、デザインの基礎として、形の原理、色彩の原理を学ぶ。次いで、ヨーロッパ 19 世紀後半に成立したデザイン運動から、20 世紀後半の各国のデザイン運動を取り上げ、生活のなかで用いられているさまざまなデザインについて、理論的に考察する。今日のデザインの原点と言えるデザイン運動は、個々の生活造形の製作から始まって、建築デザインを中心に広まり、インダストリアルデザインという大量生産へと進んでいった。このようなデザインの変遷を、生活様式の変化として捉えていく。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①デザインという概念が生まれてきた歴史をたどり、その意味を理解する。
②生活の場において、各自がデザインについて考え、実践するための基本的な態度を身につける。

学習の進め方

テキストを一読し、章ごとにそれぞれの内容を理解した後、練習問題を参照しながら理解を深め、ポイントをまとめる。リポート課題を確認し、課題に適した参考文献によりさらに学習する。課題 1 はテキスト 3 章、課題 2 はテキスト 5 章、を中心に検討する。リポート合格後は科目修了試験に向けて 1、2、4 章も含めそれぞれの項目をまんべんなく深く理解し、知識を整理しておく。

内容

1. デザインとは
2. デザインの分類、デザインの構造
3. デザインの基礎①形の原理
4. デザインの基礎②色彩の原理
5. 近代デザインの成立①アーツ・アンド・クラフツ運動
6. 近代デザインの成立②アール・ヌーヴォー
7. 近代デザインの成立③セセッション
8. 近代デザインの成立④ドイツ工作連盟と近代建築
9. 近代デザインの成立⑤バウハウス
10. 近代デザインの成立⑥アール・デコ
11. 近代デザインの成立⑦ル・コルビジェの運動
12. 近代デザインの成立⑧日本の近代デザイン
13. 近代デザイン運動と服飾
14. 生活の中のデザイン
15. まとめ

テキスト・参考書

①テキスト　生活デザイン論　日本女子大学　2012

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　『リポート課題集』参照のこと。

成績評価

①リポート　課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、リポートの完成度 30%
②科目修了試験　知識 50%、理解 30%、論理性 20%

その他

テキスト全体を学びますが、練習問題を参照して、重点的に学習してください。
機会があれば積極的にデザイン関係の展覧会等を見学してください。

服飾・文化系特別講義（夏期スクーリング）

担当教員：内村　理奈

２年次～　選択２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

服飾には、その時代の社会や文化の有り様が反映されており、同時代の美術様式や芸術思潮、あるいは美意識と関係も深いものがある。本講義「服飾・文化系特別講義」では、特に服飾と美術（アート）および各種のメディア等との関係に着目して、論じていきたい。いくつかのトピックをあげて解説を行うが、すべての回において、特に絵画と服飾の関係性について深く論じていくことになる。

授業の方法

【同時双方向型（manaba、Zoom 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3

到達目標

様々な芸術（図像資料）や文学（文献資料）に見られる服飾描写や服飾表現から、そこに託された人間の感情や美意識を読み解き、服飾の意味や表象について考察できる。また服飾を通して、同時代の社会や文化の意味を考察できる。

授業計画

第１回　イントロダクション
第２回　服飾史・服飾美学の意義、モードの意味
第３回　服飾と感情①恋愛感情とリボン
第４回　服飾と感情②雅宴画のリボン
第５回　服飾とアート①印象派絵画とモード
第６回　服飾とアート②ルノワールの舞踏会
第７回　服飾とアート③展覧会から生まれたマリー・アントワネット好み
第８回　服飾とメディア①モード雑誌と礼儀作法書：モードになった花嫁衣裳
第９回　服飾とメディア②モードになった喪服
第 10 回　服飾とメディア③モード雑誌と広告
第 11 回　服飾と絵画①　王侯貴族の生活（1）
第 12 回　服飾と絵画②　王侯貴族の生活（2）
第 13 回　服飾と絵画③　王侯貴族の生活（3）
第 14 回　課題に取り組む
第 15 回　まとめ

受講にあたって

①　準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

西洋服飾文化史および服飾美学の基礎知識があることが望ましい。

②　使用教科書

レジュメ等を manaba に掲示します。

③　参考書

授業の中で随時、紹介します

④　持参（準備）するもの

筆記用具

⑤　成績評価

授業参加 50%、課題 50%

⑥　学生へのメッセージ

manaba から授業資料、課題を配信します。課題の提出をもって出席確認、評価とします。

⑦　追試験　対象外科目

アパレルのための品質管理（テキスト）

担当教員：水沼　千枝

３年次～　選択必修２単位　〖繊維製品品質管理士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

繊維製品には多様な品質が求められる。なかでも、布や糸といった素材の強度や染色堅牢性など、消費性能に関わる品質については、企画・製造段階における適切な品質管理が不可欠である。本科目では、繊維製品に要求される品質と品質管理の基本を理解するとともに、衣料品の企画・設計の考え方や、品質評価に必要な試験項目および試験方法について学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

① 衣料品がどのような工程を経て企画・設計され、製造されているかを説明できる。
② 繊維製品に求められる品質の内容を説明できるとともに、それらを評価する試験方法および評価法について説明できる。
③ 品質管理の概要を説明できる。

学習の進め方

テキスト「新改訂版　繊維製品の基礎知識　第２部 家庭用繊維製品の製造と品質」の「2. 衣料品の企画・設計」および「3. 衣料品の製造」を読み、衣料品がどのような工程を経て製造されているかを理解する。そのうえで、衣料品に求められる品質の内容を学び、各品質がどのような試験によって評価されているのかを理解することが重要である。最後に「6. 品質管理」を学習し、衣料品の企画から製造、品質管理までの一連の流れについて総合的な理解を深める。

内容

1. 衣料品の企画・設計
2. 衣料品の製造
3. 衣料品の品質要求項目
4. 人体の生理機能
5. 繊維に関する試験法（形態、鑑別、混用率試験）
6. 糸の試験法
7. 布の試験法
8. 製品の試験法
9. 染色堅牢度試験
10. 加工剤の分析試験
11. 品質管理とは
12. 品質保証とは
13. 品質管理の PDCA サイクル
14. 統計的品質管理の基本
15. 品質管理の手法

テキスト・参考書

① テキスト ・新改訂版　繊維製品の基礎知識　第１部 繊維に関する一般知識　日本衣料管理協会(2023)
・新改訂版　繊維製品の基礎知識　第２部 家庭用繊維製品の製造と品質　日本衣料管理協会(2023)
（新訂４版　繊維製品の基礎知識　の使用も可）
・学習の手引　　**テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**

② 参考書
①JIS ハンドブック　31　繊維　日本規格協会（随時改訂されるので最新のものを見ること）
②衣料品の見分け方ー縫製と正しい表示ガイドブックー　日本織物中央卸商業組合連合会(2025)
③改訂　繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策ー　日本衣料管理協会(2025)

成績評価

① **リポート**　評価は、テキストや参考書をもとに、リポート課題に沿った内容が十分に記述されているかを 80%、自身の体験事例やそれに基づく考察を 20%として行う。

② **科目修了試験**　試験は主に記述式で出題・評価する。特に、繊維製品の消費性能や素材に関する用語については、正確に理解しておくこと。

その他

本科目は、繊維製品品質管理士にとって必須となる内容を扱う科目である。日常的に着用している自分自身の衣服の品質にも意識を向けながら、主体的に学習することを期待する。

アパレル品質管理ケーススタディ（基礎）（集中スクーリング）

担当教員：大塚　美香

３年次～　選択２単位　【繊維製品品質管理士】　スクーリング科目／2026 年度

概要

繊維製品の様々な品質苦情に関する事例について原因を考え、原因究明のための試験方法について適切なものを選び原因を究明できるよう学習する。また、再発防止のための方法について提案できるようになることを目的とする。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ5

到達目標

①　品質苦情を解決するために必要な知識を総合的に知る
②　品質苦情を処理する手順を学ぶ
③　苦情の原因を解析するための試験方法について学ぶ
④　それぞれの苦情について、予防方法を検討できるようになる

授業計画

1. 繊維製品の品質管理
2. 要求品質性能と評価方法
3. 品質規格と表示について
4. 消費者苦情の実態と発生原因
5. 品質苦情を処理する手順／品質苦情と関連法規
6. 品質苦情の事例の検討　損傷
7. 品質苦情の事例の検討　外観・携帯変化
8. 品質苦情の事例の検討　風合い・光沢変化
9. 物理的性能評価（実習）
10. 品質苦情の事例の検討　色の変化
11. 染色堅ろう度評価（実習）
12. 品質苦情の事例の検討　加工の機能変化
13. 品質苦情の事例の検討　安全性
14. 事故品を用いた事例検討（実習）
15. 品質管理に関するまとめ

※実習の内容、順番については変更することがある。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書を読んでおく。30 分から 1 時間程度。

事前課題

事故品、着用によって劣化した服、扱いが難しい服などが家にあれば持参もしくは写真にとってくる。事例検討で検討をおこなう。

②使用教科書

改訂繊維製品の品質問題究明ガイド-消費者苦情の原因究明・再発防止策-　日本衣料管理協会(2025)

注意）版が新しくなったので注意すること。

③参考書

①新訂４版　繊維製品の基礎知識シリーズ　第１分冊　繊維に関する一般知識　日本衣料管理協会(2023)
　新訂４版　繊維製品の基礎知識シリーズ　第２分冊　家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識　日本衣料管理協会(2023)
②ファッションのための繊維素材辞典　ファッション教育社(1995)

④持参（準備）するもの　教科書、筆記用具、エプロンもしくは白衣（実習時）

⑤成績評価　実験および課題リポート 80%　小テスト 20%

⑥学生へのメッセージ

繊維製品品質管理士になるために必要な知識である。予習をしてしっかり身につけてほしい。尚、指定の教科書の事故例を解説するので、教科書は必ず持参すること。

⑦追試験　対象科目

特記事項　登録時に「衣材料学」を修得済又は登録済であること

アパレル品質管理ケーススタディ（応用）（前期土曜スクーリング）

担当教員：工藤　尚一

３年次～　選択２単位　〖繊維製品品質管理士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

アパレルの物理的な性能に関する損傷、形態変化、外観変化と色の性能、機能性、安全性、表示などについて品質苦情事例をあげて、苦情の原因をグループワークにより究明する。さらに、原因究明に必要な各種試験を実験・実習により学ぶ。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ5

到達目標

①衣料品の苦情の基本的処理手順を知る。
②物理的性能や色・安全性に関する苦情を知る。
③苦情の原因を解析するための試験方法を知る。

授業計画

1. 品質と品質管理について
2. 品質苦情の実態と要因・苦情処理の手順
3. 苦情処理に必要な繊維と染色の基礎知識
4. 損傷の苦情事例と解析
5. 外観・形態変化の苦情事例と解析
6. 風合い・光沢の苦情事例と解析
7. 機能の苦情事例と解析
8. 物理的性能評価試験の実習
9. 物理的苦情に関する事例研究
10. 加工の機能、安全性の苦情事例と解析
11. 染色堅牢性の苦情事例と解析
12. 染色堅牢性評価試験の実習
13. 染色堅牢性の苦情に関する事例研究
14. 衣類の表示と関連法規
15. 品質苦情のまとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間　教科書を事前に読んで、学習する内容を把握する。1 時間程度。

事前課題

着用している衣類の素材や組成表示、取扱い表示などを確認する。取扱いなどでの失敗経験がある者は内容をメモしたり、実物を持参したりして、ワークショップに活用する。

②使用教科書　『改定 繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策－』
編者：日本衣料管理協会　発行者：日本衣料管理協会　発行年：2025 年 11 月　※旧版でも可能

③参考書　『繊維製品の基礎知識』　編者：日本衣料管理協会　発行者：日本衣料管理協会　発行年：2023 年 11 月
※旧版『繊維製品の基礎知識シリーズ第 1 分冊　繊維に関する一般知識、第 2 分冊　家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識　』の新訂 3 版又は 4 版でも可能

④持参するもの　教科書、筆記用具

⑤成績評価　筆記試験は実施せず。グループワークでの発言及び発表内容（50%）、事例検討のレポート内容（50%）を総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ　教科書を予習すること。専門用語の復習を必ず行うこと。繊維製品品質管理士には必要な科目である。

⑦追試験　対象外科目

特記事項　登録時に「衣材料学」を修得済又は登録済であること

流通・消費系特別講義（夏期スクーリング）

担当教員：勝又　淳司

２年次～　選択２単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

衣服は私達の生活に欠かせないものだが、環境や人権に対し大きな影響を与えている。本講義では近代から現代へのファッションを取りまく産業構造や消費の変化について概観しつつ、現在の課題について考察する。気候変動への影響や多大な水利用、生物多様性への影響などの諸問題と、これらを解決するための政策についてファッションの観点やから考察し、今後の持続可能な生産や消費について考察を行う。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸 DP３

到達目標

1. ファッションを通して、持続可能性とは何かを理解する
2. ファッション産業が持つ環境負荷を中心とする問題について理解する
3. 今後消費者に求められる持続可能な生産・消費について理解する。

授業計画

◆1 日目
1. 持続可能とは何か・イントロダクション
2. ファッションがもたらす環境負荷の現状

◆2 日目
3. 江戸時代の循環型社会と現在の課題
4. 先住民族の環境観

◆3 日目
5. 近代ファッションと消費構造の変遷
6. 産業の変化と大量生産体制の確立
7. ファストファッションの成立と人権

◆4 日目
8. ファッションと気候変動
9. ファッションと水

◆5 日目
10. ファッションに関する環境政策の国際比較①
11. ファッションに関する環境政策の国際比較②
12. EU の循環型経済

◆6 日目
13. ファッションと生物多様性
14. 日本の課題と今後
15. 本講義のまとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に提示されたスライドや参考文献に目を通しておくことが望ましい。最低２時間。

②使用教科書

なし（当日、レジュメ及び参考資料を配布する）

③参考書

なし

④持参するもの　　なし

⑤成績評価

4 日目の小テストと、6 日目の小レポート・テストの結果を総合して評価する(100%)

⑥学生へのメッセージ

講義を合わせてグループディスカッションを行い、問題について理解を深める。

⑦追試験

対象外科目

マーケティング論（テキスト）

担当教員：依田　素味

２年次～　選択２単位　〖繊維製品品質管理士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

マーケティングとは顧客が何を求めているのか、売れる商品・サービスの仕組みのことです。この科目では繊維ファッション産業を対象として、マーケティングを考える際の基礎となる、アパレル産業の現状と消費場面で発生する問題を中心に取りあげます。生産や流通の仕組み、衣料品が消費される際に必要となる表示や取扱い方法、衣料品の苦情、そして環境問題などを学ぶことにより、マーケティングの全体像を理解します。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

①アパレル産業の現状と生産・流通・消費の流れを理解する。
②アパレル産業の情報化を理解する。
③消費場面で発生する苦情や環境問題を理解する。

学習の進め方

テキスト全体を読み、消費者行動や消費者調査、消費者問題と政策についての概要を把握した後に、テキスト「3. 経済の変化と衣料の流通・消費」「4. 衣料の消費と消費者苦情・環境問題」から、繊維ファッション産業の仕組みや課題を考察し、そして具体的に実際の消費場面で発生する問題とは何かを捉えます。

内容

1. 消費者行動について
2. 消費者調査について
3. 消費者問題について
4. 日本の消費者政策と法規
5. 繊維産業の位置付けと変遷
6. 衣料消費の位置付けと変化
7. 繊維ファッション産業における生産・流通
8. 繊維ファッション産業のグローバリゼーション
9. 繊維製品の流通と取引形態
10. 繊維ファッション産業の情報化と取引適正化
11. 衣料品の使用と性能変化
12. 衣料品の取扱い
13. 繊維製品等の品質表示
14. 消費者苦情の実態と発生原因
15. 繊維ファッション産業と消費過程における環境問題

テキスト・参考書

①テキスト

『新訂４版 繊維製品の基礎知識 第３部家庭繊維製品の流通、消費と消費者問題』日本衣料管理協会(2021)　※旧版
『新改訂版繊維製品の基礎知識 第３部家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題』日本衣料管理協会(2023)　※新版
※新版、旧版でも**どちらでも可**　**テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**

②参考書

1『ファッションビジネスの基礎知識』日本衣料管理協会 (2023)
2『新版　消費生活論』日本衣料管理協会 (2020)
3『繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明･再発防止策ー』日本衣料管理協会 (2019)
4「繊維産業の現状と 2030 年に向けた繊維産業の展望(繊維ビジョン)の概要」経済産業省　(2022)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_nw/pdf/001_05_00.pdf
5「我が国繊維産業の現状　サステナビリティへの取組み」日本繊維産業連盟　(2021)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_industry/pdf/001_07_00.pdf

6「繊維製品品質表示規程」消費者庁
https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/law/law_04.html

成績評価

①リポート

リポートの課題に沿った充分な内容が記述されていることを 60%、参考書やそのほかの資料からの発展的記述を 20%、課題に沿った事例説明と考察を 20%として評価します。

②科目修了試験

テキストの「3. 経済の変化と衣料の流通・消費」「4. 衣料品の消費と消費者苦情・環境問題」から出題します。基礎的知識の理解度を選択式と記述式(キーワードは問題に明記)により、知識 40% 理解 40% 論理性 20%の割合で評価します。

その他

繊維製品品質管理士取得には必要な科目です。

消費生活論（テキスト）

担当教員：依田　素味

２年次～　選択必修２単位　〖**繊維製品品質管理士**〗　**テキスト科目／2026 年度**

概要

複雑化した現代社会の中では、さまざまな消費に関する問題が発生しています。私たち一人ひとりが持っている消費者としての権利を理解し、身近な事例を通して、消費者問題はなぜ発生するのか考えます。テキストと合わせて新聞・雑誌などの記事を活用しながら実態を把握し、問題の所在を明らかにし、企業の社会的責任や、行政機関・消費者団体の役割、「安心／安全な消費生活」を営むには消費者がどのように行動するべきか考えます。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①消費者問題が発生する背景／理由を理解すること。
②消費者被害を救済するための社会の仕組みを知り、その課題を理解すること。
③消費者の権利と責務について理解すること。

学習の進め方

1. テキストに沿って、社会の仕組み、消費者問題の実態、消費者政策の課題を把握して学習を進めます。消費者問題は、時々刻々と変容しますので、新聞・雑誌、参考資料などから最新の情報を収集しながら学習を進めます。
2. リポート課題を確認し、的確に応えるために調査・研究を行い、情報を整理します。リポートの下書きをする際、多様な視点から課題を捉えることが必要です。下書きしたリポートは、テキストと参考文献の整合性が図られているか確認します。
3. リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキスト・参考文献及びリポート添削指導を活用し学習を続けます。リポート不合格の場合は、添削指導を踏まえてテキスト・参考資料等を改めて学習したうえで、リポートを再度作成し提出します。
4. 科目修了試験は様々な課題を想定し学習すると効果的です。

内容

1. 消費社会の現状と問題を考える
2. 豊かな社会と消費者の権利とは？
3. 法律は消費者を守ってくれない？
4. 市場の競争にルールがなかったら？
5. この契約おかしい気がする　～不当な契約と消費者～
6. 解約したいけど大丈夫？　～様々な販売形態と法律～
7. リボ払いは便利？　～借金とクレジット～
8. 実質ゼロ円のからくり　～ネット社会と消費者～
9. 同級生はセレブらしい　～もうけ話と消費者～
10. キレイになりたい！の罠　～サービスと消費者～
11. テレビが火をふいた！　～安全と消費者～
12. リスクゼロの食品はない？　～食の安全と安心～
13. 消費者と行政の関係を考える
14. 消費者運動と企業の責任
15. 消費者の責任を考える

テキスト・参考書

①テキスト　大学生が知っておきたい消費生活と法律　細川幸一　慶応義塾大学出版会 2018
※2023 年 8 月に第 2 版が出版されていますが、どちらでも可。

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　1 消費生活論　社団法人日本衣料管理協会　2020
2 消費者政策学　細川幸一　成文堂　2007
3 消費者政策・消費生活論 第 5 版　鈴木深雪 尚学社 2014
4 くらしの豆知識 国民生活センター　毎年改定
5 ハンドブック消費者 消費者庁企画課　毎年または数年おきに改訂（最新版を利用すること）
6 消費者庁、国民生活センター、消費生活センターのホームページ・情報誌等

成績評価

①リポート　消費者問題を理解し実態を説明することができるか（50%）、自身で学習した成果をリポートに盛り込んでいるか（30%）、全体的なリポートの完成度（20%）

②科目修了試験　消費者問題に関する知識（50%）、問題の背景などを理解したうえで自身の考えを述べる力（50%）

住生活学（テキスト）

担当教員：近藤　ふみ

２年次～　必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

住まいは人間生活にとって、最も大切な基盤であり、住まいと生活は密接に関わっている。一番ヶ瀬康子によれば、生活とは生命の活動・活性化であるという。すなわち生活は私たちのあらゆる場面で行われ、人間の営みそのものであるといえる。したがって、住宅において、あるいは住宅とのかかわりにおいて展開される人間の営みが住生活であるといえよう。本科目では、①住宅および家族生活の歴史的変遷から、また②住宅問題をはじめとする社会や地域との関連において、そして③安心・安全の視点から、住生活を学びこれからの快適な住生活のあり方について検討する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ2

到達目標

①住生活とは何か、自らの言葉で説明できる。
②住居学における住生活学の位置づけを理解できる。
③快適な住生活を計画し、実践する力を身に付ける。

学習の進め方

最低限、テキストを通読すること。そのうえでリポート課題に着手し、理解を深めるためにテキストの図表等の引用文献や統計資料にあたってほしい。リポート課題にすべて合格し、科目修了試験に向けて勉強する際には、テキストの内容を説明できるくらいまで理解することを目標にしてほしい。

内容

1. 住生活における近年の著しい構造的変化
2. 住宅・住生活の変遷１（原始から近世）
3. 住宅・住生活の変遷２（近代から現代）
4. 福祉と住居１（高齢者と住まい）
5. 福祉と住居２（障がいのある人と住まい）
6. 住まいの計画１（生活行為と生活空間）
7. 住まいの計画２（インテリアの計画）
8. 環境と住生活１（気候と室内環境、温熱環境）
9. 環境と住生活２（光・音環境）
10. 環境と住生活３（空気・水環境、環境負荷）
11. 住居の選択
12. 住居の管理
13. 地域生活とまちづくり１（住宅地の諸相）
14. 地域生活とまちづくり２（地域・まちをつくる多様な視点）
15. 地域生活とまちづくり３（まちづくりの手法）

テキスト・参考書

①テキスト　生活と住居　ひとりひとりが暮らしを考える　薬袋奈美子・浅見美穂　編著　彰国社　2026

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①テキスト『生活と住居』の図表等の引用文献および統計資料
②住まいの百科事典　日本家政学会編　丸善出版　2021 年（全国各地の図書館で閲覧可能）　など

成績評価

①リポート　課題１：課題の理解および学習成果 80%、論理性 20%
課題２：課題の理解および学習成果 50%、独創性 30%、論理性 20%

②科目修了試験　第１問 40～60 点、第２問 60～40 点（合計 100 点）　難易度により上記の枠内で配点する。

その他

本科目において学んだことを（一部であっても）日々の生活の中に取り込んでみる、他の生活芸術学科科目を学習する際に本テキストをひも解いてみるなどで、さらに学びが深まるはずである。

住宅問題・政策（テキスト）

担当教員：松本　真澄

２年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

私たちの生活の基盤として、質の高い住居を安定的に確保することは重要である。しかし、経済格差や災害などにより国民がそうした住居にあまねく居住出来ていない現状がある。これらの現象が住宅問題として、どのように私たちの住生活に影響を与えているのかを考えてみたい。そして、その解決方策としての住宅政策について、第二次世界大戦後のわが国での実績と課題を学習し、居住の質を向上させる道筋を探ることを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3　生芸ＤＰ4

到達目標

①住宅事情について基本的な知識を身につけ、資料や統計データなどを利用して自身で調べる力を身につける。
②住宅政策についての基本的な知識を得、社会状況や歴史的な変遷をふまえつつその意義を理解する。
③社会の変化に対応して、諸現象を捉え、自分で考える力を養い住宅問題の課題解決の思考を深める。

学習の進め方

テキストを［内容］に従って学習し、参考文献を調べて、理解を確かなものにする。特に、用語の概念を整理しながら、学習を進める。次に、リポート課題を確認し、必要な資料を図書館や ホームページで調べ、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習し、自身の考えをまとめてリポートを作成する。リポートは、下書きを作成し、推敲を十分して完成させ、提出する。

内容

1. 住宅問題１（産業革命、住宅困窮、1.1,1.2）
2. 住宅問題２（現代日本の住宅問題、 1.3～1.5）
3. 住宅の質、住宅供給（2.1、6.1）
4. 住宅水準（2.2～2.6）
5. 社会的側面（3.1、3.2）
6. 日本の住宅政策１（4.1、4,2）
7. 日本の住宅政策２（4.3～4.5）
8. 海外の住宅政策（イギリス、ドイツ）
9. 海外の住宅政策（スウェーデン、アメリカ）
10. 災害と住宅（3.4, 6.2）
11. 居住地の再生（6.3, 6.4）
12. 住宅の瑕疵１（7.1～7.3）
13. 住宅の瑕疵２（7.4、7,5）
14. 居住の権利（9.1～9.4）
15. 近年の住宅政策の動向：追補

テキスト・参考書

①テキスト　図解住居学４ 住まいと社会　図解住居学編集委員会編　彰国社　2005、　追補　住居経済

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　2025 年の住宅事情－図解 住生活基本計画－　国土交通省住宅局住宅政策課／監修　ぎょうせい　2016
追補末尾に掲載

成績評価

①リポート　全体を 100 として、課題の理解（ねらいとアドバイスを参考にすること）40%、既存資料及び統計資料の活用 20%、学生自身の思考 30%、リポートの完成度 10%。

②科目修了試験　第１問 60 点、第２問各 20 点。用語の理解と考察力を確認する。

その他

「住居経済」修得済の者の履修不可

住居史（テキスト）

担当教員：片山　伸也

１年次～　選択必修２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

住居の形態や形式は人々の生活の営みから必然的に生まれてきたものであり、その歴史を学ぶことは、住居を通して様々な時代の生活の様子や精神文化を垣間見ることになる。気候風土や文化の違いから住居形式は自ずと異なってくるが、社会制度の類似が住居の構成に興味深い共通点をもたらすこともある。日本及び西洋の各時代の住居形式の変遷を通して、生活文化と住居形式の関係性を理解する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①時代ごとの固有の住居形態について、その空間構成や形態的特徴を理解する。
②時代ごとの住居形態それぞれの社会的・文化的背景を理解する。

学習の進め方

1. 西洋住居史のテキストは、住居の変遷を時代ごとに区切って説明しているが、時代ごとに地中海沿岸からイギリスまで扱う地域が異なっている。日本住居史のテキストも、大きくは時代順に記述されているが、本論は大きく分けて支配階層の住宅と民家にわけてまとめられている。どちらも住居の「進化・発達」というよりも各時代の社会状況に応じた住居形式として捉え、日本と西洋あるいは時代ごとの社会的状況の相違点と共通点を整理し、それに伴う住居形式の相違点と共通点を比較考察する。
2. テキストの内容を充分に理解した上で、課題の趣旨に沿って論ずるポイントを明確に絞り、リポートを作成する。
3. 科目修了試験に向け、再度テキストを精読し、各時代の住居形式の名称と構成（間取り、室名など）を整理すると共に、建物の特徴とその住宅が成立した時代背景を簡潔にまとめる。

内容

1. 西洋１：原始時代の住居の成立
2. 西洋２：古代文明の住居
3. 西洋３：中世封建社会の住居
4. 西洋４：近世貴族の住居
5. 西洋５：都市型住宅の形成
6. 西洋６：近代都市住宅の課題
7. 西洋７：モダンリビングの誕生
8. 日本１：先史時代の住居
9. 日本２：寝殿造
10. 日本３：寝殿造の簡略化と主殿造
11. 日本４：武家社会と書院造
12. 日本５：数寄屋風書院
13. 日本６：町家と農家
14. 日本７：近代日本の生活の変化と住宅
15. 日本と西洋の住文化の比較考察

テキスト・参考書

①テキスト　①西洋住居史―石の文化と木の文化　後藤久　彰国社　2005
②改訂版　図説日本住宅の歴史　平井聖　学芸出版社　2021

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

成績評価

①リポート

リポートでは、比較する住居の相違点・共通点が明確に示されているか（50%）、単なる引き写しではなく、論点を絞って記述されているか（30%）、各時代の住居の特質を簡潔に説明できているか（20%）を評価する。

②科目修了試験

科目修了試験では、時代ごとの住居形式の基礎的な知識があるか（達成目標①70%）、各時代の住居形式の建築的特徴とその歴史的背景を説明できるか（達成目標②30%）を評価する。

福祉環境論（テキスト）

担当教員：佐藤　克志

２年次～　選択必修２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

超高齢社会を迎える日本において、高齢者や障害者を含む全ての人々にとって、安全で住みやすい生活環境をつくりあげていくことが急務の課題となっている。そのような社会背景のもと、この科目では生活環境の基盤である住宅とその周辺環境に焦点をあて、その問題点と解決策について、高齢者や身体障害者の身体機能の特性や生活行為の特徴から考える。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ3

到達目標

①バリアフリーデザインとユニバーサルデザインの考え方、②高齢者・障害者の心身特性と住環境配慮、③バリアフリー住宅の計画・設計手法、④福祉のまちづくりのための法律と公共施設のバリアフリー配慮について理解できる。

学習の進め方

「学習の手引」には教科書から何を学び取ってもらいたいのか、また教科書では触れられていない事柄をまとめている。試験は教科書だけではなく「学習の手引」に書かれていることも対象とするので、それに従って学習を進めること。
リポート課題１は授業内容 1～9 を理解した上でとりかかること。リポート課題２については授業内容 10～15 の学習が概ね終わった段階でとりかかること。「学習の手引」にポイントをまとめてあるのでそこを中心に学習する。その際には高齢者、障害者の身体特性をしっかりと理解し、リポートでは「生活行為・動作上のニーズ→問題（ニーズと環境とのギャップ）→解決策」という関連が読み手に理解できるようにまとめる。
リポート合格後の科目修了試験受験に向けては、障害／身体機能の制約と環境の関わりに関する基本的考え方、ユニバーサルデザインの基本的考え方とその実践方法、住戸内空間のバリアフリー配慮内容とその理由などについて、テキスト及び学習の手引きにより学習を深めておくこと。

内容

1. バリアフリー、ユニバーサルデザインの基本
2. 障害者の身体特性の理解
3. 高齢者の身体特性の理解
4. バリアフリー住宅の計画１：バリアフリー住宅の基本
5. バリアフリー住宅の計画２：段差、手すり、仕上げ
6. バリアフリー住宅の計画３：通路・出入口、建具
7. バリアフリー住宅の計画４：アプローチ、玄関、階段
8. バリアフリー住宅の計画５：居間・食事室、寝室、キッチン
9. バリアフリー住宅の計画６：脱衣室、洗面所、浴室、トイレ
10. 福祉のまちづくりのための法律（バリアフリー法、福祉のまちづくり条例）
11. 公共施設のバリアフリー配慮１：敷地内通路、駐車場、出入口
12. 公共施設のバリアフリー配慮２：通路、階段、傾斜路
13. 公共施設のバリアフリー配慮３：エレベータ、便所
14. 公共施設のバリアフリー配慮４：案内設備、客席・観覧席他
15. 福祉のまちづくりの今後の課題

テキスト・参考書

①テキスト　図解　高齢者・障害者を考えた建築設計［改訂第２版］楢崎雄之　井上書院　2014、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　住環境のバリアフリー・ユニバーサルデザイン　野村歡 他　彰国社　2015　など

成績評価

①リポート

課題の「ねらい、アドバイス」に答えているか（70%）、リポートとしての論理的展開が適切かどうか（30%）を総合評価する。

②科目修了試験

4 つの到達目標のいずれかに関する問題を 2～3 題出題するので、教科書、及び学習の手引を万遍なく復習しておくこと。最終成績はリポート課題（30%）と科目修了試験（70%）の総合得点で評価する。

住居安全情報論（テキスト）

担当教員：平田　京子

３年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

住居は生命と生活を守る器である。近年では災害や事故・犯罪など、安心な住まいを実現するためには多くの知識が必要であり、設計者にはさまざまな配慮と将来の危険性を予測する力が求められている。この授業では、住宅・住生活におけるさまざまな安全性能の設定を、主に地震防災、防火、住宅内事故、住宅の防犯の面で考える。また住宅・建築設計者の使命は起こりうる災害やリスクを把握し、その対応策を計画・設計することであり、設計内容を消費者に適切に伝えることである。これらを理解することで、住生活と住宅にかかわるリスクの現状を把握し、安全を守るためにはどのような性能を建物に与えればよいかを考究する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ3

到達目標

①住居・建築の安全性とリスクについて性能面から情報収集・分析し、設計・計画に活用することができるようになる。
②住居・建築の安全性に関わる設計目標と将来のリスクを、建築主や市民に適切に説明するための基礎力がつく。

学習の進め方・内容

安全とリスク、情報をキーワードに、テキストと発展的学習から各テーマに関する概要を把握し、それぞれの項目の理解を深める。科目修了試験で出題する範囲は、下記のすべてである。

1. 建築分野におけるリスク、ハザードの定義を行う。
2. 住宅の設計で考慮すべきリスクをテキストから把握する。具体的には地震防災、防火、住宅内事故、住宅の防犯がどのようなものか、概要を把握する。
3. 火災　火災の発生状況、火災の発生メカニズム、延焼拡大防止対策、避難方法についてテキストを理解した上で、さらに参考文献からくわしく理解する。
4. 地震１　地震の発生メカニズム、地震災害の歴史についてさまざまな参考文献から調べる。
5. 地震２　住宅の耐震性向上について、耐震・制震・免震構造の特徴、耐震診断と耐震改修を理解する。テキストと参考文献から十分に理解する。
6. 地震３　防災について自助、共助、公助の面からどのようなことが必要か、さまざまな参考文献から理解する。
7. 地震４　震災からの復旧・復興とは何かを、参考文献から用語の意味をふまえた上で、概要を把握する。
8. 地震５　住民の非常時の家となる避難所、避難所の住民による自主運営の必要性について、参考文献から把握する。
9. 防犯 住宅における侵入盗の侵入方法の詳細をテキストから理解し、防犯環境設計とは何かを参考文献から調べる。
10. 住宅内事故の種類と対策をテキストおよび参考文献から調べる。
11. リスクコミュニケーションと設計者のアカウンタビリティについて、参考文献から調べる。
12. まとめ　リポートで総合的な課題を考察する。
13. テキスト全般について復習するなど十分な学習と準備のうえ科目修了試験を受験する。
14. 科目修了試験不合格の場合、改めてテキストの内容を全般的に学習し、関連資料を調べるなどして再試験に向けて理解を深める。
15. 科目修了試験の合格をもって、「住居安全情報論」の単位が認定される。

テキスト・参考書

①テキスト　初めて学ぶ住居学　＜建築のテキスト＞　編集委員会編　学芸出版　2015 年
学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

＜地震災害＞

現代建築学　建築防災・安全　室崎益輝　鹿島出版会　1993 年
都市防災学 ： 地震対策の理論と実践　梶秀樹・塚越功編著　学芸出版社　2012 年
地震防災　里村幹夫編　学術図書出版社　2013 年
建築学の基礎７　建築防災　大宮喜文ほか　共立出版　2005 年
いのちを守る地震防災学　林春男　岩波書店　2003 年
しくみ図解シリーズ 耐震・制震・免震が一番わかる　高山峯夫・田村和夫・池田芳樹　技術評論社　2012 年
＜火災＞
はじめて学ぶ建物と火災　日本火災学会編　共立出版　2007 年
図解よくわかる 火災と消火・防火のメカニズム　小林恭一編著　日刊工業新聞社　2015 年
＜防犯＞
防犯環境設計の基礎　デザインは犯罪を防ぐ　清永賢二監修　彰国社　2010 年
＜リスクコミュニケーション＞
心理学が描くリスクの世界ー行動的意思決定入門　広田すみれ・増田真也・坂上貴之　慶應義塾大学出版会　2018 年

成績評価

①リポート
リポートの記述に当たってどのくらい参考文献を調べて内容をまとめたか（40%）、それらから自らの考察をどのくらい論理的に構成したか（50%）、リポートの完成度（10%）を評価する。
②科目修了試験
2 問を各 50 点として、合計点で評価する。知識の理解度、意見を客観的にまとめているかどうかを評価のポイントとする。

その他

参考文献は上記に限らず、多岐にわたるので、広く文献、インターネットなどから情報収集を行うようにしよう。
特記事項　「居住性能論」修得済の者の履修不可

建築保存再生論（テキスト）

担当教員：是澤　紀子

３年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

人々が住まう環境は、その土地の気候風土のもと、文化による影響を積み重ね、時間をかけて形成されてきたものである。そのような環境を背景として成立している歴史的な建築と、それらの保存と再生をめぐる課題について理解することを目的とする。ここでは主に日本の歴史的な建築を取り上げ、①保存・再生の理念や制度、②背景にある歴史文化、③過去を読解する手がかりとなる空間、④修復の手法、⑤文化財あるいは工学的観点からみた活用の手法、⑥地域の産業や生産組織といった６つの側面から多角的に考察する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ3

到達目標

①歴史的な建築とその保存・再生について、理念や法制度をふまえて理解する。
②歴史的な建築とその保存・再生について、背景の読解に根差した具体的な保存・再生手法のあり方について理解する。

学習の進め方

［学習の進め方］
①テキストを通読し、章ごとにポイントを理解する
→②掲載されている建築の概要について、テキスト以外の参考文献を用いて調べる
→③掲載されている建築の部位や部材名称について、テキスト以外の参考文献を用いて調べる
→④リポート課題を確認し、関連する建築の実物をできる限り観察する
→⑤リポート課題に関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する
→⑥リポートの下書きを作成し、論点を絞る
→⑦テキストの内容を十分に理解し、参考文献から得た知識と照らし合わせて、リポートの内容を検証する（論点や文脈と課題との整合性を確認すること）
→⑧論を展開するにあたり、参考文献を明記するなど、その根拠を示す
→⑨リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する（リポート不合格の場合は、改めて学習し、関連する建築の実物をできる限り観察した上で、リポートを作成し提出）
→⑩科目修了試験に向けて、リポート課題の学習内容を復習するとともに、テキスト・参考文献により学習する

内容

1. 歴史的な建築と文化財の種類
2. 建築文化財と国際憲章
3. 建築保存・再生の課題
4. 建築保存・再生の理念
5. 建築保存・再生の法制度
6. 建築保存・再生の前提となる歴史文化
7. 建築形態と空間の読解１――日本建築の事例
8. 建築形態と空間の読解２――西洋建築の事例
9. 歴史的な建築の調査と評価
10. 建築保存・再生の調査と工事
11. 木造の被害と保存・再生
12. 煉瓦造の被害と保存・再生
13. 石造の被害と保存・再生
14. 建築の継承と生産組織
15. 建築の継承と生業

テキスト・参考書

①テキスト
建築遺産　保存と再生の思考－災害・空間・歴史　野村俊一・是澤紀子編　東北大学出版会　2012

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

＜日本建築の保存＞

新建築学大系 50　歴史的建造物の保存　新建築学体系編集委員会編　彰国社　1999

その他、各種国宝・重要文化財建造物修理工事報告書

＜日本建築史全般＞

伝達と変容の日本建築史――伝わるかたち／伝えるわざ　野村俊一編　勉誠出版　2022

新建築学大系 2　日本建築史　新建築学体系編集委員会編　彰国社　1999

日本建築史図集 新訂第三版　日本建築学会編　彰国社　2011

日本建築史基礎資料集成　中央公論美術出版　1971～刊行中

日本建築史序説 増補第二版　太田博太郎　彰国社　1989

建築の歴史　藤井恵介・玉井哲雄　中央公論社　1995

建築と都市の歴史　光井渉・太記祐一　井上書院　2013

増補新装 カラー版 日本建築様式史 太田博太郎他 美術出版社 2010

古建築のみかた かたちの魅力 伊藤延男 第一法規出版 1967

古建築入門講話　川勝政太郎　河原書店　1966

＜日本建築の部材名称等＞

建築大辞典　第二版　彰国社　1993

日本建築辞彙　中村達太郎　中央公論美術出版　2011

古建築の細部意匠　近藤豊　大河出版　1972

成績評価

①リポート

各課題の理解（50%）、学生自身の考察力（30%）、リポートの完成度（20%）として評価する。

②科目修了試験

科目修了試験では、到達目標①については、国際憲章との比較をふまえた日本国内の建築保存再生の制度・理念と手法に関する問題（40%）と、到達目標②について、建築の形態・空間・歴史・文化などの調査や評価、その評価に基づく保存再生の手法に関する問題（60%）によって成績を評価する。

その他

建築の保存・再生を理解するためには、建築史の知識と実際の空間体験が重要です。参考書として挙げた日本建築史の書籍を読み、関連する日本建築を積極的に実見してください。

特記事項　「建築意匠論」修得済の者の履修不可

住居マネジメント（集中スクーリング）

担当教員：浅見　美穂

２年次～　選択必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　スクーリング科目／2026 年度

概要

少子高齢化や世帯構成・ライフスタイルの多様化など、私たちの暮らしの変化は著しい。また地球環境や資源の有効活用の視点からも、住宅や建物のフローからストックへの移行が注目され、維持管理やリフォーム・リノベーションに関する知見が求められている。良好なストックの形成と都市居住・地域活性化へ向けて、所有者が住宅や建物を適切に管理し、豊かな生活環境を継続するための方策や、建築家としての実践を踏まえながら、建築士などの専門家の果たす役割を考える。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）、面接】

動画視聴型遠隔授業（１，２日目）と対面（面接）授業（３日目）によるスクーリング授業

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ4　生芸ＤＰ5

到達目標

①住まいを管理する方法や住宅リフォームについて、基礎的な知識を身につける。

②住宅や建物の維持管理のための対策や費用、関連法制度などの知識を得る。

③より良い住居管理のために、臨機応変に対応できる居住力を育む。

授業計画

1. 住居マネジメントの目的	(manaba にガイダンスや各課題の提出期限日時を事前通知)
2. 生活財の管理	
3. 居住歴とリフォーム	
4. 日常の手入れと老朽化対策	
5. 住宅の耐用年数と性能	(第１日： manaba より講義動画視聴、各課題提出)
6. 集合住宅の管理	
7. 集合住宅の修繕計画	
8. 住居費の管理	
9. 住宅の維持管理費用	
10. 住宅リフォームの実務	(第２日：manaba より講義動画視聴、各課題提出)
11. バリアフリー改修	
12. 耐震診断と耐震改修	
13. 管理を支える制度と職能	
14. エリアマネジメントと防災	
15. これからの住居マネジメント	(第３日：面接　課題発表、講義、グループワーク、筆記試験)

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業初日までに必ず manaba を確認し、参考書を読んでおくか、授業動画が視聴可能になったら、早めに学習を進めておくこと。自分の住環境（住まい・地域）の情報を客観的に考察するための関連資料を事前に収集しておくと良い。

②使用教科書　manaba より授業資料を配付し、必要に応じて参考書を紹介する。

③参考書　①図解住居学６ 住まいの管理　住まい住居学編集委員会編　彰国社　2003

②脱・住宅短命社会　山﨑古都子　サンライズ出版　2012

③おとなのための住まい力　知識/経験/リテラシー　住総研「おとなのための住まい学」研究委員会編　ドメス出版　2020

④準備するもの　筆記用具、電卓など。その他、必要な物があれば事前に連絡する。

⑤成績評価

授業では建物の維持管理に関連したワークシートやレポート課題を予定している。また最終日にはグループワークやその発表に取り組み、最後に筆記試験を行う。これら課題への取り組み（60%）や試験結果（40%）を総合して評価する。

⑥学生へのメッセージ

私たちの住宅や利用する建物や周辺環境が快適であるために、どのように維持管理されているのかの視点を持ってほしい。

３日間で学ぶには広範囲な内容のため、manaba 登録後から最終日まで、時間をかけてじっくり学んでほしい。

⑦追試験　対象科目

特記事項　2016 年度「住居学特講Ⅰ」とほぼ同様の内容につき登録の際は留意のこと

住居環境学（テキスト）

担当教員：細井　昭憲

２年次～　必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

人々が生活する場である住居にかかわる環境は、大きく屋外環境と屋内環境に分けられる。
屋外においては、太陽の位置・動き、日照、日射、日影、気象・気候などについて、屋内においては、音、光、空気、熱などの要素に着目し、基礎的知識を学ぶとともに、その評価、建築的調整方法、さらに快適な環境計画のあり方などを学習する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

住居の屋外環境、屋内環境に関連する環境要素について、それぞれの特性、人とのかかわり、快適性の評価などに関する基礎知識を修得する。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。
特に図表の理解が重要なので、図の読み方や使い方を学習する。

内容

1. 熱・湿気環境(1)温熱要素と快適条件
2. 熱・湿気環境(2)屋外気候/太陽位置と日照
3. 熱・湿気環境(3)熱環境
4. 熱・湿気環境(4)湿気と結露/冷暖房計画
5. 空気環境(1)空気汚染の種類/空気清浄に関する目標
6. 空気環境(2)必要換気量
7. 空気環境(3)換気計画
8. 空気環境(4)通風計画
9. 音環境(1)基本事項
10. 音環境(2)騒音防止計画
11. 音環境(3)音響設計
12. 光環境(1)基本事項
13. 光環境(2)採光計画
14. 光環境(3)照明計画
15. 学習のまとめ　環境負荷に配慮した建物の計画

テキスト・参考書

① **テキスト**　改訂版　初めての建築環境　〈建築のテキスト〉編集委員会編　学芸出版社　2014、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② **参考書**　建築環境工学　倉淵隆　市谷出版社　2022 年

成績評価

① **リポート**　課題の要求点に対する理解度と記述・整理の仕方、また、記述内容に加え、論理的考察力、表現力などの合計で評価する。　評価の比率　理解度 50、記述・整理 20、考察力・表現力 30

② **科目修了試験**　各設問の得点の合計点で評価する。試験の出題範囲は①テキストと②参考書を含めた範囲とする。

住居環境学（後期土曜スクーリング）

担当教員：徳弘　洋子

２年次～　必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　スクーリング科目／2026 年度

概要

人々が生活する場である住居にかかわる環境は、大きく屋外環境と屋内環境に分けられる。

ここでは、建物の屋外、屋内において関わる環境の物理的な要素について学習する。屋外においては、太陽の位置・動き、日照、日射、日影、気象・気候などについて、屋内においては、音、光、空気、熱などの要素に着目し、その基礎的知識を学ぶとともに、その評価、建築的調整方法、さらに快適な環境計画のあり方などを学習する。

授業の方法

【同時双方向型（Zoom 利用）、動画視聴型（manaba 利用）】

ガイダンス時は同時双方向型遠隔授業とし、以降は動画視聴型遠隔授業にて実施する。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

住居の屋外環境、屋内環境に関連する環境要素について、それぞれの特性、人とのかかわり、快適性の評価などに関する基礎知識を学習する。

授業計画

ガイダンス：授業の進め方　　(manaba に事前掲示)

1. 建築環境の概要
2. 都市環境
3. 気候 外部気候と住まい/温熱要素と快適条件
   (第１日：ガイダンス Zoom のち manaba)
4. 熱・湿気環境(1)伝熱/建物全体の熱特性
5. 熱・湿気環境(2)結露　　(第２日：manaba)
6. 空気環境(1)空気汚染と必要換気量
7. 空気環境(2)換気計画と通風　　(第３日：manaba)
8. 日照・日射環境(1)太陽位置と日照日影
9. 日照・日射環境(2)日射と日照調整（第４日：manaba)
10. 光環境(1)基本事項
11. 光環境(2)採光計画と照明計画
12. 光環境(3)色彩　　(第５日：manaba)
13. 音環境(1)基本事項
14. 音環境(2)遮音と吸音/騒音防止
15. 音環境(3)室内音響　　(第６日：manaba)

各回共通：※

※　manaba より講義動画視聴、全６回、複数ファイルに分割

※　manaba にて各回小テストまたはレポート、質問は掲示板にて

※　MsTeams 等にて個別相談も利用可能

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

なじみのない用語が多いので、事前に上記授業計画の対象範囲の教科書を一読しておく予習が必要である（各回 1 時間程度)。何がどこに書いてあるか、例えば「湿り空気」や「終日日影」という言葉が出てきたときに関連する章の記述を把握しておくと効率的に学習を進められる。演習問題にも取り組むため、基礎的な数式は確認しておきたい。各週において講義、小テスト、課題復習と合わせての時間確保が望ましい（5～7 時間程度)。

事前課題　　特になし

②使用教科書　　改訂版　初めての建築環境　＜建築のテキスト＞編集委員会編　学芸出版社 2018

③参考書　　建築環境工学〔改訂版〕山田由紀子　培風館 1997、初学者の建築講座　建築環境工学（第四版）倉渕隆　市ヶ谷出版社 2022

④持参するもの　　筆記用具、定規、色鉛筆、電卓など。その他、必要な物があれば事前に連絡する。

⑤成績評価　　各回の小テストまたはレポートを総合して評価する。次週までの提出が必須。全６回実施し合計 600 点を満点とする。基礎的な図表や計算式から意味を読み取り、住生活を始めとする社会課題に問題意識や分析力を持っていることを評価する。

⑥学生へのメッセージ　　より良い生活環境を合理的に計画・設計し、生活者としても適切に維持管理できる能力を養ってほしい。

⑦追試験　対象外科目

住居設備学（テキスト）

担当教員：細井　昭憲

３年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

快適で健康的な居住環境を実現するうえで、建築的な環境調整では足りない分については、設備機器を利用して調整する必要がある。この科目では、これらの技術について学ぶ。
設備技術の中で、主として暖冷房・換気・空気調和設備と給排水・衛生設備について学び、そのシステムの分類・特徴、各機器の構成と働き、また、種々の設備技術と計画の基礎や考え方などを学習する。また、設備機器の稼働には必ずエネルギー消費が伴うため、地球環境負荷が生じる。そのため、地球環境負荷軽減の観点も含め今後の設備機器・技術のあり方につき、住まい方も含め住居としてどうあるべきかを考えていく。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

空気調和設備、給排水衛生設備の基礎知識として、設備の原理、機器・装置の構成と役割、システムの種類と特徴などを修得する。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。各設備・装置・機器・システム等の名称や構成・特徴・原理などを調べ、整理する。また、地球環境問題の原因・対策に関し、設備の視点から考察する。これらをまとめ、これからの設備のあり方に関し学習する。

内容

1. 建築設備と地球環境、設備デザインの可能性
2. 建築設備における熱、空気、水の流れ
3. 空調設備(1)自然環境、太陽エネルギー、空調負荷
4. 空調設備(2)熱源、空調方式
5. 空調設備(3)搬送、吹出し、換気、自動制御
6. 給排水衛生設備(1)水に関する基礎知識
7. 給排水衛生設備(2)給水、給湯、排水通気設備
8. 給排水衛生設備(3)衛生器具、浄化槽、ガス設備
9. 防災設備(1)防災計画
10. 防災設備(2)消火設備：火災の種類、消火法、消火設備分類
11. 防災設備(3)消火設備：スプリンクラ、消火栓、など
12. 建築と省エネルギー(1)省エネルギー基準
13. 建築と省エネルギー(2)性能基準と仕様基準
14. 設備計画とスペース(1)設備スペース　DS、PS
15. 設備計画とスペース(2)断面計画、設備計画テクニック

テキスト・参考書

① **テキスト**　建築の設備入門〔新訂第二版〕　「建築の設備」入門編集委員会編　彰国社　2017、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② **参考書**　最新建築設備工学　田中俊六　井上書院　2022 年

成績評価

① **リポート**　課題の要求に対する理解と記述内容に加え、論理的考察力、記述力・表現力などの合計で評価する。評価の比率　理解 50、　記述力・表現力 20、考察力 30

② **科目修了試験**　設問数により配点配分を決め、各設問の得点の合計点で評価する。試験の出題範囲は①テキストと②参考書を含めた範囲とする。

まちづくり論（テキスト）

担当教員：薬袋　奈美子

２年次～　選択必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

まちづくりには、社会的な側面と空間的な側面とがある。当科目では、屋外生活空間について、空間的な特徴を把握する力をつけることを目的とする。都市計画的領域の中でも、特に、生活をするための空間を考える際に必要となる視点を学習する。

授業の方法

【印刷授業等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3　生芸ＤＰ4

到達目標

①都市・住環境についての基礎知識を習得する。
②生活者の視点で、まちを改善する考え方を身につける。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進め、まちづくりの基礎として、特に生活環境をつくりあげるために必要とされる空間づくりについて指定図書を読む。またリポートでは、リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

内容

1. 伝統的な居住形態から豊かな住環境を探る
2. 都市論の誕生と展開
3. 生活空間計画の展開
4. 生活を取り巻く土地利用
5. 土地利用コントロール
6. 都市の水・緑と公園
7. 交通計画
8. 快適な居住環境をつくる
9. 地域の個性と景観
10. 災害に備える
11. 様々な主体から考える
12. 生活空間の再編～農村・中心市街地～
13. 生活空間の再編～密集市街地～
14. 生活空間の再編～郊外住宅地・都心居住～
15. 生活空間のマネジメント

テキスト・参考書

①テキスト　生活の視点でとく 都市計画第　２版　薬袋奈美子他　彰国社　2024、学習の手引
（テキストは初版でも良い）

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①まちづくりキーワード事典　三船康道他　学芸出版社　2009
②地域共生の都市計画　三村浩史　学芸出版社　2005
③新・都市計画概論　加藤晃他　共立出版　2004
④自分にあわせてまちを変えてみる力ー韓国・台湾のまちづくり　饗庭伸他　萌文社　2016

成績評価

①リポート　各課題に係る事項の理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。
②科目修了試験　まちづくりにおける基礎的な事項の習得状況を評価する。

その他

このテキストを勉強したのちに、自分のまちを改めて見て、生活空間の特徴を把握してみましょう。住民が主体的に生活空間を改善していくための基礎的な知識と考え方を学び、まちづくりに積極的に参加することを期待しています。

特記事項　「住宅地計画」修得済の者の履修不可

建築計画論（テキスト）

担当教員：宮　晶子

２年次～　選択必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

建築空間は物質化された目に“見えるもの”から構成されているが、それは、人の行動や心理などにかかわる目に“見えないもの”に無意識的にも意識的にも深く影響を及ぼしている。それらは相互に関係しあっており、時代の変化にともなって、建築設計上注視される内容も変化していく。建築設計においては、無数の可能性の中からひとつを選び出さなくてはならない。
これまで先人が築いてきた人間と建築の関係について学び、記述法や思考方法を知った上で、個人的な経験や感覚を共感可能な言語として考察し、その意味を構造化し、現代社会における建築のあり方を更新していくことのできる力を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ2

到達目標

①場所としての建築を人の行動、心理の側面から理解する。
②人と空間の関係に問題意識をもち、空間を改善・提案する力を身につける。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

内容

1. 空間・機能
2. 感覚・知覚
3. 記憶・イメージ
4. 寸法・比例
5. アクティビティ・動線
6. 広場・中庭
7. アプローチ・シークエンス
8. 街路・景観
9. 集落・都市
10. ランドスケープ・環境
11. 保存・再生
12. 図化・表現
13. 計画と設計／住居
14. 教育／文化　／コミュニティセンター
15. 商業／業務／宿泊／祝祭／複合

テキスト・参考書

①テキスト　建築空間計画　積田洋 他著　彰国社　2012

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①都市と建築のパブリックスペース　鹿島出版社　ヘルマン・ヘルツベルハー　1995
②かくれた次元　みすず書房　エドワード・E・ホール　1974
③実存・空間・建築　鹿島出版会 クリスチャン・ノベルク・シュルツ　1973
④建築計画読本 大阪大学出版会 舟橋国男共著(鈴木毅担当章)　2004

成績評価

①リポート　課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。
②科目修了試験　人と建築の関係の理解度により評価する。

その他

建築はあらゆる分野とのかかわりを持ちます。多くの経験や書物と好奇心と考察力をもって、向き合うことを勧めます。
特記事項　「住居設計学」修得済の者の履修不可

インテリア計画論（テキスト）

担当教員：青木　賀津子

１年次～　必修２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

インテリアデザインを学ぶ目的は、様々な生活行為や生活様式と、そのもっとも身近な舞台としての物理的空間や装備との、好ましい関係を学ぶことである。また地域の自然環境や人工的環境との関係を考え、より快適な生活環境の創造を担う力を養うことである。本科目では、住宅のインテリアデザインを中心に、インテリアを構成している物理的要素を理解し、計画とデザインの基礎を学修する。添削指導において、実務家としての知見を活かす。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ2

到達目標

①インテリアに関わる基礎知識を修得する。
②インテリア空間計画に活用できる能力を身に付ける。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

内容

1. 日本の住まいとインテリアの変遷
2. 西洋のインテリアと家具様式の変遷
3. 人間工学の意味と人体寸法
4. 家具・設備への人間工学の応用
5. 形・色・テクスチャーの心理
6. 人間的尺度と空間の心理
7. 家具
8. テキスタイル
9. 照明
10. 材料と仕上げ
11. 室内環境計画
12. プライベートインテリアの計画①コミュニケーション空間
13. プライベートインテリアの計画②寝室・書斎・子ども部屋
14. プライベートインテリアの計画③サニタリー空間・収納
15. パブリックインテリアの計画:オフィス・ホテル・店舗空間

テキスト・参考書

①テキスト　インテリアデザイン教科書 第二版　インテリアデザイン教科書研究会編　彰国社　2015

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①インテリアデザインとは何か（ＳＤ選書）　三輪正弘　鹿島出版会　1985
②インテリアデザイン辞典　インテリアデザイン辞典編集委員会編 清家清監修　朝倉書店　1981

成績評価

①リポート

各課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。

②科目修了試験

インテリア要素の理解度、住空間計画に必要な情報から考察した内容を論理的にまとめられているかを評価のポイントとする。

その他

日頃から、興味を持って優れた建築空間を体験し、インテリア作品に触れる機会を持ち、見る目を養ってほしい。

建築法規（テキスト）

担当教員：青木　賀津子

２年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

建築物を安全かつ快適に活用し、調和のとれた環境を形成するためには、ルールに則って建物を計画する必要がある。数多くあるルールの中で基本的な役割を持つ建築基準法を中心に、その他の関連法令を体系的に学ぶ。さらに各々の法制度の意味や運用方法について考察を深め、自らの生活や住環境整備と社会システムの関係を理解することを目的とする。添削指導において、建築家としての知見を活かす。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ4

到達目標

①建築物を作る上で必要な建築基準法を中心とした建築関連法規の基礎知識を修得する。
②法制度の目的や内容を理解し、住環境整備や建築設計、施工や工事監理などで活用できる能力を身に付ける。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→法令集での照合を合わせて行う→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

内容

1. 建築法規の概要（建築法規の歴史、役割、体系）
2. 用語の定義（建築物・防火・建築手続きに関する用語・面積高さ）
3. 建築物の健全性(単体規定)(1)一般構造
4. 建築物の健全性(単体規定)(2)構造強度
5. 建築物の健全性(単体規定)(3)防火と内装制限
6. 建築物の健全性(単体規定)(4)避難・建築設備
7. 都市と街区の健全性(集団規定)(1)道路と敷地
8. 都市と街区の健全性(集団規定)(2)用途地域
9. 都市と街区の健全性(集団規定)(3)容積率と建ぺい率
10. 都市と街区の健全性(集団規定)(4)高さ制限
11. 都市と街区の健全性(集団規定)(5)防火地域・地区計画など
12. 確認申請と手続き規定
13. 関連法令(都市計画法･消防法)
14. 関連法令(バリアフリー法・住宅品質確保法・耐震改修促進法)
15. 関連法令(建築士法･建設業法)

テキスト・参考書

①テキスト　改訂版　初めての建築法規　＜建築のテキスト＞編集委員会編　学芸出版社　2023

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①改訂版　図説 やさしい建築法規　今村仁美ほか　学芸出版社　2019
②基本建築基準法関係法令集 2025 年版　国土交通省住宅局建築指導課 建築技術研究会編　建築資料研究社　2025

成績評価

①リポート

各課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。

②科目修了試験

法令の理解度と、論述の完成度（調査・考察した内容を客観的かつ論理的にまとめているか）により評価する。

その他

自分が生活する住環境や都市社会と照らし合わせて建築法規を理解し、かつ体系的に学習することが重要である。

住居製図（夏期スクーリング）

担当教員：青木　賀津子

２年次～　選択１単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　スクーリング科目／2026 年度

概要

住宅を中心とした設計図書の基本的な約束ごとを理解し、設計図の読み解き方を理解しながら、住宅の設計図の描き方を学ぶことを目的とする。教科書内の住宅の図面を、配置図、平面図、断面図、立面図を相互にかつ総合的に読み解き、設計者の意図をも探し出せるようにする。製図用具を用いた基礎的な設計図の描き方により住宅の設計図を描き、住宅設計に必要な条件を学ぶ。建築士やインテリアプランナーなどの資格取得に向けた、基礎的な科目である。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　生芸ＤＰ5

到達目標

①木造住宅の製図を通して、設計図の読み解き方を修得する。
②住宅設計に必要な図面の記載内容を学び、製図法を修得して基本的な設計図を描く力を養う。

授業計画

住宅の図面の基本ルールを確認した上で、木造住宅の設計図の作図をする。

1. 設計用具の使い方、線の描き方の練習
2. 図面の読み方を学び、基本的な図面を描く。　（第１日）
3. 教科書の名作住宅：篠原一男「白の家」、前川國男「自邸」の平面図・断面図・立面図を読み解く。
4. 製図法を用いて平面図の製図(1)中心線
5. 平面図の製図(2)壁の下描き、開口部の下描き　（第２日）
6. 教科書の名作住宅：吉村順三「軽井沢の山荘」、吉阪隆正「ビィラ・クゥクゥ」の平面図・断面図・立面図を相互に読み解く。
7. 平面図の製図(3)壁面の仕上げ
8. 平面図の製図(4)建具、仕上げ表現などの作図　（第３日）
9. 平面図の製図(5)細部の描き込み、寸法、室名などの記入
10. 製図法を用いて断面図の製図(1)基準線、壁や屋根の下描き　（第４日）
11. 断面図の製図(2)断面線の仕上げ、見えがかり部分の下描き
12. 断面図の製図(3)細部の描き込みと寸法、文字の記入
13. 製図法を用いて立面図の製図(1)基準線、屋根や壁の下描き　（第５日）
14. 立面図の製図(2)外形線などの仕上げ、細部の描き込み
15. 作品提出、講評　（第６日）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間　受講前に必ず教科書を一読しておく。最低１時間程度。

②使用教科書　改訂版　名作住宅で学ぶ建築製図　藤木庸介編　学芸出版社　2020 年

③参考書　①建築設計演習 基礎編　建築デザインの製図法から簡単な設計まで 武者英二 彰国社　1982 年
②第２版　コンパクト建築設計資料集成［住居］　日本建築学会編　丸善　2006 年
③改訂版　建築製図　基本の基本　櫻井良明　学芸出版社　2023 年

④持参するもの　ケント紙（A2 サイズを４枚）、製図用シャープペン（0.5㎜、HB 程度）、消しゴム、赤色鉛筆（消しゴムで消せるもの）　その他、三角スケールや勾配定規、字消し板、メンディングテープなどは大学の物を使用するが、手持ちの物があれば持参することを推奨する。

⑤成績評価　名作住宅の図面の読み解きなど、授業中の取り組み姿勢と製図作品の完成度（必要な情報が正確に描き込まれているか、線の美しさ等）により、総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ　初日から製図版に向かって図面を描くので、作業に必要なものは各自用意すること。

⑦追試験　対象外科目

住居設計Ⅰ（前期土曜スクーリング）

担当教員：江添　貴子

２年次～　選択１単位　〖二級建築士・木造建築士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

与えられた設計条件を整理し、戸建て木造住宅の計画をまとめ上げ、表現する力を身につけることを目的とする。２つの設計実習課題を通して、それぞれの住宅に求められる機能や、居住者構成員のライフスタイルや物の大きさ・配置と空間との関わり、さらに周辺環境との関係性を理解することが必要である。木造住宅の基本的な構造と製図法を修得するだけでなく、住居学の学びを活かした総合的なデザイン能力を養い、設計製図、建築設計に進むための基礎となる科目である。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ5

到達目標

①木造一戸建て住宅の基本的な製図方法を修得する。
②課題の与条件を読み解き、計画案をまとめ表現する力を養う。

授業計画

住宅の図面の製図方法を確認した上で、２つの実習課題（木造住宅）に取り組む。

1. 図面の読み方・描き方の基礎
2. 木造住宅図面の描き方の練習
3. 住居設計課題①「木造平屋建ての住宅」の条件設定　（第１日）
4. 住居設計課題①のエスキース
5. 住居設計課題①の作図１：平面図
6. 住居設計課題①のエスキース　（第２日）
7. 住居設計課題①の作図２：立面図・断面図
8. 住居設計課題①の発表・講評　（第３日）
9. 住居設計課題②「店舗併用住宅」（木造２階建て）の与条件提示
10. 住居設計課題②のエスキース　（第４日）
11. 住居設計課題②の作図１：平面図・配置図
12. 住居設計課題②の解説：基礎伏図・床伏図・小屋伏図・仕上表
13. 住居設計課題②のエスキース　（第５日）
14. 住居設計課題②の作図３：立面図・断面図
15. 住居設計課題②の発表・講評　（第６日）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

受講前に必ず教科書を一読し、住宅設計に必要な基本的事項を確認しておく。授業時間内の実習をスムーズに進めるため、1 回の授業につき最低1時間、次の授業の準備にあてること。

②使用教科書　新しい建築の製図　新しい建築の製図編集委員会編　学芸出版社　2005 年
その他必要に応じてプリントを配付する。

③参考書　①建築設計教室　新訂二版　建築設計教育研究会編　彰国社　2001 年
②改訂版　名作住宅で学ぶ建築製図　藤木庸介編　学芸出版社　2020 年
③階段がわかる本　中山繁信・長沖充著　彰国社　2010 年
④コンパクト建築設計資料集成＜住居＞　日本建築学会編　丸善出版　2006 年　他適宜授業の際に紹介する。

④準備するもの　製図用シャープペン（0.5㎜、HB 程度）、消しゴム、スティール製巻尺（コンベックス等）、ケント紙（初回授業時に A2 サイズを１枚）、エスキース用紙（方眼ノートやコピー用紙も可。A4～A3 サイズ）、その他、必要な物があれば事前に連絡する。

⑤成績評価　課題①と②それぞれへの以下の項目にて評価する。

1,　取り組み状況：毎週自分の考えや図面をブラッシュアップしたエスキスができているか。
2,　製図作品：課題要件を満たし、独自の提案性を持った上で、木造図面をしっかり描けているか。
3,　発表内容：各課題提出時にみんなの前で自分の作品発表を行う。その際自分の提案をしっかりと図面と口頭で説明できているか。

⑥学生へのメッセージ　「住居製図」修得後の履修とする。

⑦追試験　対象外科目

住居設計Ⅱ（テキスト）

担当教員：江添　貴子

３年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

与えられた設計条件を整理し、発展的に理解し、自らのアイディアを練って、木造および鉄筋コンクリート造の住宅の計画をまとめ上げ、表現する力を身につけることを目的とする。2 つの小規模集合住宅の設計実習課題を通して、プログラムに即した配置計画、内部の空間構成、および、その建築と周辺環境や都市との関係を考慮し、創造的にデザインする。

授業の方法

【印刷教材等】印刷教材等　＋　エスキス（作品提出に対する添削）式授業

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ5

到達目標

①木造、鉄筋コンクリート造、それぞれの構造的な特性と空間の関連を理解する。
②課題のプログラムを発展的に理解し、計画案をまとめ表現する力を養う。

学習の進め方

課題要件やねらいから課題の意図を汲み取り、コンセプトを練る。
テキストから、それぞれの構造の特質を理解して、コンセプトに照らし合わせながら設計する。また、参考事例を収集し、設計の参考とする。

内容

1. 住居設計課題①「二世帯のための住まい」
2. 住居設計課題①課題の理解・事例収集
3. 住居設計課題①与条件の整理とプログラムの設定
4. 住居設計課題①配置計画のスタディ
5. 住居設計課題①平面図・断面図のスタディ
6. 住居設計課題①立面図のスタディ
7. 住居設計課題①プレゼンテーション図面の作成
8. 住居設計課題②「RC の小規模集合住宅」
9. 住居設計課題②課題の理解・事例収集
10. 住居設計課題②与条件の整理とプログラムの設定
11. 住居設計課題②配置計画のスタディ
12. 住居設計課題②平面図・断面図のスタディ
13. 住居設計課題②立面図のスタディ
14. 住居設計課題②プレゼンテーション図面の作成 1
15. 住居設計課題②プレゼンテーション図面の作成 2

テキスト・参考書

①テキスト　建築デザイン製図　松本正富　編著　学芸出版社　2018

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①新しい建築の製図　新しい建築の製図編集委員会編　学芸出版 2005 年
②建築設計教室 新訂 2 版　建築設計教育研究会編　彰国社 2001 年
③改訂版名作住宅で学ぶ建築製図、藤木庸介編、学芸出版社 2020 年
④コンパクト建築設計資料集成＜住居＞、日本建築学会編　丸善出版 2006 年

成績評価

①リポート　課題①、②の成果物について、課題への理解度、適切な構造計画、プレゼンテーションの完成度の点から評価する。
②科目修了試験　科目修了試験として課す問題への理解度、適切な構造計画、プレゼンテーションの完成度の点から評価する。

その他

スクーリング科目「住居製図」修得後の履修とする。また、スクーリング科目「住居設計Ⅰ」を修得後の履修が望ましい。

コンピュータデザイン（テキスト）

担当教員：佐藤　克志

３年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

建築設計業務においてCAD（Computer Aided Design）はなくてはならないツール／システムとなっている。本科目ではそのCADシステムについて基本的な知識と使い方について学習する。本科目の演習用ソフトとしてJw_cad（フリーソフト）を使用する。

授業の方法

【印刷教材等】
印刷物（テキスト及び学習の手引き）を学習しながら、CADソフト（Jw_cad）を用いて建築設計図を描く。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ5

到達目標

①建築製図の基本とCADの基本知識を習得する。
②CADの作図機能を理解し、建築図面の作図要素を描画、編集することができる。
③CADを用いて適切に建築の図面を表現できる。

学習の進め方

「学習の手引」には本科目の学習内容とテキストの対応箇所及び該当部分の補足／注意事項が示されている。確認しながら学習を進めること。リポート課題１は授業内容1～9を、リポート課題２は授業内容10～13についてテキストを参考に学習し、内容を充分理解した上でとりかかること。
リポート合格後の科目修了試験受験に向けては、建築図面を作図する際の基本ルール、CADソフト（JW_CAD）を用いた作図方法等をおさらいをしておくこと。

内容

1. 建築製図の基本（建築図面の種類、建築製図の基礎知識）
2. Jw_cadの操作１（起動、終了、画面構成、ツールバーの設定）
3. Jw_cadの操作２（図面の新規作成、保存、作図操作の取り消し・やり直し、画面の拡大・縮小・移動）
4. Jw_cad の操作３（マウスによる任意点・読取点の指示、図面ファイルの基本設定、レイヤの概念と操作、図形の選択・選択解除）
5. 作図操作１（線の作図）
6. 作図操作２（線の消去、編集）
7. 作図操作３（矩形の作図と編集）
8. 作図操作４（円・円弧の作図と編集）
9. 作図操作５（文字の記入と編集、寸法の記入と編集）
10. 建築図面の作図準備１（用紙サイズ、縮尺、レイヤとレイヤグループの設定、図面ファイルの印刷）
11. 同２（図形属性の設定と変更、印刷時の線の太さ、形状の設定）
12. 平面図の作図１（基準線、柱、開口部、壁を描く）
13. 平面図の作図２（設備機器、家具、仕上げ、室名、寸法の記入）
14. 集合住宅住戸の設計・作図１（リポート課題２に関する実習）
15. 集合住宅住戸の設計・作図２（リポート課題２に関する実習）

テキスト・参考書

①テキスト　Jw_cadで学ぶ建築製図の基本･Jw_cad8対応版　櫻井 良明　2017　エクスナレッジ　、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　Jw_cad の解説や使い方を紹介しているホームページは多数あるのでそれらを参考にしても良い。Jw_cad の最新バージョンはJw_cad 8であるがJw_cad 7を対象とした解説書も参考にできる。

成績評価

①リポート　リポート課題は達成目標②③について、ねらい・アドバイスに答えているかで評価する。

②科目修了試験　3つの到達目標のうち、①②に関する知識問題を出題するので、Jw_cadの使い方等についておさらいをしておくこと。最終成績はリポート課題（70%）と科目修了試験（30%）の総合得点で評価する。

その他

Jw_cad以外のCADで作成した課題の提出は原則として認めない。どうしてもJw_cad以外のCADで課題を行いたい場合は「学習の手引-1」p.1の指示に従うこと。

スクーリング科目「住居製図」修得後の履修が望ましい。

インテリアデザイン演習（夏期スクーリング）

担当教員：水越　美枝子

３年次～　選択２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

住宅の室内設計について、基本的な考え方やインテリアの演出方法を学ぶ。演習は自分の家のリフォーム設計をする。住まいの中に自分らしい暮らしを投影させた、アクティビティーの高い空間づくりに取り組む。建築家・キッチンスペシャリストとしての実践に基づいた授業を行う。

授業の方法

【面接】
第１日目は教科書を使った座学を行い、各自課題案のコンセプトを考える。第２日目は講師が設計した住宅を見学する。
第３日目以降は製図版に向かい設計を進める。スケッチ段階では講師による対面指導を受ける。第６日目は設計図を掲示して発表する。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2　生芸ＤＰ5

到達目標

①室内設計についての基礎的な知識を得る。
②自己と向き合い、住まいに投影するテーマ（どんなふうに暮らしたいか）を見つける。
③テーマを具現化できるようなプランニングをする。
④プラン自体に住まいとしての整合性をはかる。

授業計画

第１日
1. 講義「室内設計の基礎知識」
2. 講義「インテリアの基礎知識」
3. 課題説明と講義「コンセプトの作り方」

第２日
4. 見学(1)　講師の設計した住宅の見学
5. 見学(2)　事前課題の発表
6. 見学(3)　過去の作品の閲覧

第３日
7. 課題案のコンセプト作成

第４日
8. 演習　課題案のプランニング（図面の描き方）
9. 演習　課題案のプランニング（ゾーニング）

第５日
10. 演習　課題案のプランニング（動線計画）
11. 演習　課題案のプランニング（収納計画）
12. 演習　課題案のプランニング（インテリア計画）

第６日
13. 作品のプレゼンテーション
14. 作品の講評
15. 講義「今後の勉強の進め方」

受講にあたって

①　準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

水廻りメーカー（TOTO、LIXIL、トクラス、パナソニック等）のショールームに足を運び、キッチン・浴室・洗面所の商品知識を得る。ショールームは予約をして、可能であればアドバイザーからの説明を受け、カタログを持ち帰ること。課題ではカタログを使用するため、授業までに一通り目を通しておく。必要時間４時間程度

事前課題

教科書を通読したうえで、教科書を参考に、自分が好むインテリア空間の写真またはカラーコピーを 20 点以上選び、各写真についての感想を記入した「インテリアノート」を作成して第２日目に提出する。写真は書籍・雑誌のスキャン、またはコピーとし、インスタグラム等の WEB からの転写は不可とする。必要時間数 5～6 時間程度

②　使用教科書　「いつまでも美しく暮らす住まいのルール」　水越美枝子　㈱エクスナレッジ　(2023 年改訂版)

③　参考書　「間取りの正解」　水越美枝子　㈱エクスナレッジ　(2024 年)
「美しく暮らす住まいの条件」　水越美枝子　㈱エクスナレッジ　(2019 年)

④　持参するもの　0.9㎜のシャーペンまたはＢの鉛筆、字消し板、消しゴム

⑤　成績評価　事前課題の成果 50%　授業参加・課題作品の発表 50%　で評価する。

⑥　学生へのメッセージ　登録時に「住居製図」を必ず修得済みであること。教科書を必ず通読し、日常生活の中で「科学的に住まうこと」を理解し、「居心地の良い住空間」について自分なりに考えてきてほしい。

⑦　追試験　対象外科目

特記事項：受講者数を 30 名までとする

力と形（テキスト）

担当教員：小久保　彰

１年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

住宅を含め建物を新たに構築するには、その構造を安全かつ経済的に設計する必要がある。建物はどのように地震や台風などの力（外乱）に耐えているのか？　安全な建物にするには、それら外から作用する力に対してどのような形や構造にしたらよいのか？ これらの疑問について学習したい。

本科目は、机上における簡易な実験を通して建築構造のメカニズムを「体験」しながら、「力のつりあいと変形」、「力を支える構造物のかたち」について分析調査し、学習することでこれらに関する理解を深める。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

①「力のつりあいと変形」に関する実験を実施し、結果を評価・理解する
②「力を支える構造のかたち」に関する実験を実施し、結果を評価・理解する
③住宅を安全に構成する上で、留意すべき力の作用や形の構築システムについて理解する

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認して実験を行い、その過程や結果についてリポートにビジュアルに表現できるよう、写真などで記録をとりながら進める。また、テキストの解説、その他参考書などを幅広く学習し、実験結果の理解を深め、実験結果などを中心にリポートをまとめ、提出する。

内容

1. 力を（身体で）感じよう
2. かたちをつくって試してみよう
3. 力の種類とその効果
4. 力の釣合い－建物を安全に保つために－
5. 建物に作用する力とその挙動
6. 力によって部材はどうなるか
7. 座屈って何？－棒材の座屈－
8. 梁を曲げてみよう－単純梁のしくみ－
9. ラーメンに壁が付くと－耐力壁付きラーメン－
10. 糸を垂らしてみよう－ケーブル構造のしくみ－
11. ものを積み上げてみよう－アーチ構造のしくみ－
12. 引張・圧縮だけで作ってみよう－トラス構造のしくみ－
13. 膜で作ってみよう－膜構造のしくみ－
14. 不安定と崩壊－建物を壊さないために－
15. 実験の実施およびリポートの作成：上記テキスト各章を熟読した後に、リポート課題の指示に従い、テキストの選択した実験の内容について再度熟読、そのねらいを理解したうえで、テキストに沿って実験を実施し、リポートを作成する。

テキスト・参考書

①テキスト　構造入門教材　はじめてまなぶ　ちからとかたち　日本建築学会　2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　テキスト巻末の「参考になる図書」を参照
構造入門教材 絵でみる ちからとかたち　日本建築学会　2013

成績評価

①リポート

各課題とも、概ね次のポイントと重みで評価する。

課題の理解 10%、実験の実施状況 20%、実験結果の評価と理解 40%、課題のねらいに対する全般的な理解 30%

②科目修了試験

解答の記述内容に対して、習得した知識の正誤（50%）、理解の深さ（20%）、説明の論理性（30%）をポイントに評価する。

その他

まずは手を動かして、テキスト、参考書に書かれているポイントを理解して実験を進めるのがよい。

住居構造（前期土曜スクーリング）

担当教員：江尻　憲泰

１年次～　選択必修２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

建築構造は基礎構造と上部構造に大別できる。基礎構造は建物を支える重要な構造であり、基礎の形式は建物の支持方式や形状、材料、施工法により多くの種類がある。また、上部構造として、木造、鉄筋コンクリート(RC)造、鉄骨(S)造が多く用いられるが、使用材料や架構形式により様々な特徴を有する構造形式があり、住居構造を考えるうえで重要な、多種多様な構造について、実例や教科書に基づき理解する。住居構造は大きな建築構造の原点でもあり大きな構造の事例等、住居構造以外についても折に触れて紹介する。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom 利用)、面接】：1 日目～5 日目 Zoom のち manaba、6 日目面接授業及び manaba

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1

到達目標

①建築構造を構成する基礎構造と上部構造について、それぞれの形式の種類と特徴を理解する。
②実際の建築物を観察し、各構造の形式について考察できる。

授業計画

第１日
1. 建築構造の概要
2. 木造(1)　木材の性質
3. 木造(2)　在来軸組工法・枠組工法

第２日
4. 木造(3)　実例の紹介
5. 木造(4)　最近の木造
6. RC 造(1)　鉄筋とコンクリートの性質

第３日
7. RC 造(2)　その特徴・原理と構造形式
8. RC 造(3)　構造計画
9. RC 造(4)　実例の紹介

第４日
10. S 造(1)　鋼材の性質
11. S 造(2)　高力ボルト接合・ボルト接合・溶接

第５日
12. S 造(3)　その特徴と構造形式
13. S 造(4)　実例の紹介

第６日
14. 地盤・基礎
15. 様々な構造

各回共通

manaba にて小テストまたはリポート、質問は掲示板にて
Zoom　にて同時双方向型授業、最終日のみ面接授業

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
事前に教科書を一読しておくこと（各回１時間程度)。

②使用教科書　改訂版 初めての建築一般構造 〈建築のテキスト〉編集委員会編　学芸出版社　2018
（適宜、Teams にて資料を配布する。）

③参考書　①構造用教材　日本建築学会　2014
②構造入門教材 はじめてまなぶ ちからとかたち　日本建築学会　2003
③図解でよく分かる建築構造入門　江尻憲泰　エックスナレッジ　2021

④準備するもの　筆記用具

⑤成績評価　各回の小テストとレポートを総合して評価する。満点を 100 点とし、合計点数で評価する。評価項目は、習得した知識に関する理解度と正確性、記述の明瞭性である。

⑥追試験　対象外科目

構造力学（後期土曜スクーリング）

担当教員：三原　悠子

２年次～　選択２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　　スクーリング科目／2026 年度

概要

建築物には、建築物自身の重さや使用する人・物の重さ、風、地震などの様々な外力が生じる。これら外力に対して、建築物が過大に変形したり倒壊したりせずに、安全を保つように計画・検討するのが構造設計である。構造設計では、建築構造を構成する骨組の材料や形式、部材断面を決定するが、その基本となるのが構造力学である。建築構造設計を行ううえでの基本となる構造力学について理解する。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

①力のつり合い条件について理解し、静定構造物を解く（反力や内力を求める）ことができる。
②外力の作用により部材に生じる「変形」と「内力」、これらに影響を与える「断面の性質（断面の形が持つ力学的特性）」に関する内容について理解する。

授業計画

1. 構造力学の概要(pp. 6～25)
2. 力　表し方･三要素･モーメント･合成と分解(pp. 26～39)
3. 構造物　荷重･反力(pp. 40～53)　（第１日：動画視聴のち、manaba によるレポート提出）
4. 静定梁(1)片持ち梁の応力(pp. 54～64)
5. 静定梁(2)単純梁の応力(pp. 65～73)
6. 静定ラーメン(1)ラーメンの応力(pp. 74～80)
7. 静定ラーメン(2)ヒンジ系構造物の応力(pp. 80～83)　（第２日：動画視聴のち、manaba によるレポート提出）
8. 静定トラス(1)トラスについて（pp. 84～90）
9. 静定トラス(2)図式解法(pp. 91～97)
10. 静定トラス(3)算式解法（pp. 98～105）　（第３日：動画視聴のち、manaba によるレポート提出）
11. 断面の力学的特性(1)断面一次・二次モーメント(pp. 106～114)
12. 断面の力学的特性(2)断面係数、断面二次半径(pp. 115～123)
13. ひずみ度と応力度、弾性係数(pp. 124～135)　（第４日：動画視聴のち、manaba によるレポート提出）
14. 部材の設計　許容応力度、引張材・圧縮材(pp. 146～161)　（第５日：動画視聴のち、manaba によるレポート提出）
15. 梁のたわみ、たわみ角、不静定構造物(pp. 170～191)　（第６日：動画視聴のち、manaba によるレポート提出）

受講にあたって

① **準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間**　高校の数学（三角関数、微積分等）・物理（運動方程式等）の復習
事前課題　教科書第１章全体、第２章 図2.19,2.20(三角関数)の予習を行うこと

② **使用教科書**　改訂版 初めての建築構造力学 〈建築のテキスト〉編集委員会編　学芸出版社　2013

③ **参考書**　①構造用教材　日本建築学会　2014　②構造入門教材 はじめてまなぶ ちからとかたち　日本建築学会　2003

④ **持参（準備）するもの**　筆記用具、関数電卓

⑤ **成績評価**　①レポート　毎授業後に課題に取り組み、レポートとして提出する。
レポートは、各回授業内容への理解を確認する問題を出題し、回答する形式とする。
理解度を 60%、計算の正確性を 30%、レポートの完成度を 10%として評価する。

⑥ **追試験**　対象外科目

特記事項　集中講座の短期間に理解を深めるため、事前課題に記載した予習を十分行って下さい。
動画視聴型の授業とします。授業日当日までに Teams に授業動画をアップしますので、ご確認ください。

建築・インテリア材料（テキスト）

担当教員：永井　香織

２年次～　選択２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　テキスト科目／2026 年度

概要

設計された建物を実現させるためには、建物を構成する様々な材料特性を理解する必要がある。各種建築材料は、建物を構成する建築構造材料や、建物を守る仕上材料などの建築材料、室内空間を構成するインテリア材料などに分類される。これらの材料は、使用する居室や部位などに合わせた要求性能を考慮し、選定されている。建築・インテリア材料を構成している各種材料の特性を理解し、適材・適所に選択する能力を養うことを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

①各種建築・インテリア材料の基礎的特徴・性質を理解する。
②建物の各部位に合わせた要求性能と材料選定の仕方を身につける。
③人間の五感と各種材料の関係を理解し、インテリアの材料設計を習得する。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

内容

1. 建物を構成する各種材料
2. 木材の性質と使い方
3. コンクリート・モルタルの性質と使い方
4. 金属材料の性質と使い方
5. 石材の性質と使い方
6. 窯業材料の性質と使い方
7. 左官材料の性質と使い方
8. 塗料・仕上塗材の性質と使い方
9. 防水材料の性質と使い方
10. 壁装材料の性質と使い方
11. ガラスの性質と使い方
12. 地球環境とエコマテリアル
13. 屋根・外壁の要求性能と材料
14. 内装空間の要求性能と材料
15. 各種材料と五感

テキスト・参考書

①テキスト　最新建築材料学：松井勇・出村克宣・湯浅昇・中田善久，井上書院, 2020. 3. 20

②参考書　建物解剖学：建物解剖学研究会, 井上書院，2014. 6. 10
ニッポンの建築素材：日本建築士会連合会・編，吉備人出版，2009. 12. 25

成績評価

①リポート　各課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。
②科目修了試験　各種材料特性の理解度、建物の各部位の要求性能に適合させた材料設計によって評価する。

その他

自分の身近な建築、インテリア材料を観察し、どのように使われてどんな状態であるかを観察することを勧める。

建築施工（前期土曜スクーリング）

担当教員：鈴木　陽子

３年次～　選択２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

設計図書に示された意匠・仕様・性能を、品質や耐久性などを確保して実際につくり上げるには、材料の特性を理解した上で、どのような手順でどのように組み立てるかを考え、それを確実に遂行しなければならない。本科目では、木造・鉄筋コンクリート造などの構法ごとに、着工準備から竣工までの一連の流れに沿って、各種建築工事の概要を学習し、基本的な施工法に関わる知識と技術力を習得する。

授業の方法

【同時双方向型（Zoom 利用）、動画視聴型（manaba 利用）】
第１日のガイダンスと第６日は同時双方向型遠隔授業（Zoom 利用）、第１日のガイダンス後～第５日は動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）。※授業計画を参照のこと

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ2

到達目標

①建築施工に関する基本的な知識を、他の科目（構造や材料など）と関連付けて理解する。
②基本的な施工法についてその意味と根拠から理解し、ものづくりに柔軟に対応できる力を養う。

授業計画

第１日：ガイダンス Zoom のち manaba
1. 建築施工現場のあらまし
2. 木造在来軸組工法（1）施工の３段階～基礎工事

第２日：manaba
3. 木造在来軸組工法（2）木材加工～プレカット加工
4. 木造在来軸組工法（3）屋根工事～検査・引き渡し
5. 各種工事の基本（1）木工事

第３日：manaba
6. 枠組壁工法（1）施工の３段階～小屋組工事
7. 枠組壁工法（2）屋根工事～工業化住宅のあらまし

第４日：manaba
8. 鉄筋コンクリート造（1）施工の３段階～基礎工事
9. 鉄筋コンクリート造（2）1 階建入れ～外装工事
10. 各種工事の基本（2）型枠・鉄筋・コンクリート工事

第５日：manaba
11. 鉄骨造（1）施工の３段階～鉄骨工事
12. 鉄骨造（2）床スラブ工事～その他の工事
13. 各種工事の基本(3)鉄骨・仮設・土・防水・仕上工事

第６日：Zoom
14. レポートの発表
15. まとめ

受講にあたって

①　準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
建築施工の専門用語が多くでてくるので、何がどこに関連することなのかを把握するため、事前に教科書を一読しておくこと（各回１時間程度）。
事前課題　なし

②　使用教科書　初めての建築施工 改訂版　〈建築のテキスト〉編集委員会編　学芸出版社　2014

③　参考書
① 図解 建築工事の進め方 木造住宅 新版　深尾精一･福本雅嗣･栗田紀之編　市ヶ谷出版社　2002
② 図解 建築工事の進め方 鉄筋コンクリート造 新版　内田祥哉･深尾精一監修　市ヶ谷出版社　2006
③ 図解 建築工事の進め方 鉄骨造 新版　藤本盛久･大野隆司監修　市ヶ谷出版社　2006
④ 建築大辞典 第２版　彰国社編　彰国社　1993

④　持参するもの　筆記用具

⑤　成績評価　各回の提出物 60％、レポート 40％で評価する。レポートの出題は第１日ガイダンス Zoom で行う。リサーチ結果をまとめたレポートを授業最終日に発表する。

⑥　追試験　対象外科目

生活芸術学科科目

生芸-５０

住居学特講（夏期スクーリング）

担当教員：井本　佐保里

２年次～　選択２単位

スクーリング科目／2026 年度

概要

建築が社会課題にどのように寄与することができるのかを講義を通して考えていきたい。[パート１]子ども施設では、すまいの中から外部化されていった子育てや学習の場をどのように計画することができるのかを考える。次に[パート２]途上国では、貧困地域における住まいや子どもを取り巻く環境や、災害後の復興について考える。最後[パート３]災害復興では、近年の国内における災害を対象とし、その後どのような施策の下に住まいの再建が行われたのか、またそれにより地域住民はどのような影響を受けたのかについて考える。

授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ3　生芸ＤＰ4

到達目標

①　社会課題に対して、建築や都市空間がどのように寄与することができるのかについて自分の考えを持つ。
②　都市や建築の専門家が、社会課題に対してどのように職能を発揮すべきなのかについて自分の考えを持つ。

授業計画

[ガイダンス]
①ガイダンス
[パート１]施設計画
②保育園／幼稚園／子ども園の計画と設計
③児童養護施設の計画と設計
④学校の計画と設計
⑤高齢者施設の計画
⑥障碍者施設の計画
⑦脱施設へ
[パート2]途上国
⑧　ケニア・インフォーマル市街地の学校
⑨　ケニア・農村部の学校
⑩　難民キャンプの居住環境
[パート3]災害復興
⑪　東日本大震災と仮設住宅
⑫　災害と人々の住まいの再建（福島編）
⑬　学校の再編（福島編）
⑭　復興の境界
⑮　災害と人々の住まいの再建（伊豆大島編）

受講にあたって

①　準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

受講にあたって、授業内容に関連する図書を読むなど情報収集をしておいてください。5 時間程度必要となります。

事前課題

Manaba で掲示します。

②　使用教科書

なし

③　参考書

・保育環境のデザイン - 子どもの最善の利益のための環境構成，定行まり子，全国社会福祉協議会，2014

・アジア・アフリカの都市コミュニティ，城所哲夫/志摩憲寿，学芸出版社，　2015

・復興デザインスタジオ−災害復興の提案と実践，東京大学復興デザイン研究体，東京大学出版会，2017

④　持参（準備）するもの

・特になし

⑤　成績評価

・毎回のレポートにて講義の理解度を評価します

⑥　学生へのメッセージ

関連する書籍や、ニュースについて常にアンテナを張って知るようにしてください。社会と建築を横断しながら考えていくことに意識的になってみてください。

⑦　追試験

対象外科目

児童学概論（テキスト）

担当教員：尾上　佳代

１年次～　選択２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

本科目は、子どもに関する広い領域を対象とする学際的な学問である「児童学」の根幹をなす、「児童」「子ども」とは何か？という問いを自明視することなく、知見を深めていく。広い意味での環境から不断の影響を受けて存在する「子ども」について、多面的に探究しながら学習を進める。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸 DP１　食物 DP１　食科 DP１

到達目標

「子ども」に関する一般的なイメージや固定観念からの脱却を図り、「子ども」に対する知見をより深めることを到達目標とする。

学習の進め方

1. テキストを１回通して読み、全編を通して著者の言わんとすることを理解する。
2. 各章毎にあげてある参考文献に当たり、理解を深める。
3. リポート課題を良く読み、関係する箇所のテキスト・参考文献を改めて学習する。
4. リポートの下書きをして、テキスト・参考文献との整合性等を確認した後、提出用リポートを作成する。
5. リポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポート不合格の場合は添削者のコメントやアドバイスを吟味し、改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上で再提出する。

内容

1. 『<子供>の誕生』第１部 子供期へのまなざし
2. 『<子供>の誕生』第２部 学校での生活
3. 『<子供>の誕生』第３部 家族
4. アリエスの功績
5. 子ども期の発明
6. 子ども期の消滅
7. 「子どもの権利に関する宣言」（ジュネーブ宣言）
8. 「子どもの権利宣言」
9. 「条約」になるまで
10. 「子どもの権利条約」
11. ２０世紀の３つの「児童憲章」のまとめ
12. 人間に生命の質を選ぶ力はあるか
13. 母親の心音で赤ちゃんは安心するか
14. 「ひとりっ子」って問題？
15. 幼児期における一人遊びの重要性

テキスト・参考書

①テキスト　<子ども>考ー児童学概論ー　高井-川上清子　日本女子大学通信教育課程　2001

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　テキストの各章末に記載してある引用文献・参考文献を参照。

成績評価

①リポート　「ねらい」「アドバイス」を踏まえ、課題の理解、リポートとしての完成度の視点から評価する。

②科目修了試験　論述形式の問題を呈示する。テキストをしっかり読み理解しているかを基本とし、論理性、独自性を評価する。

その他

テキスト科目は「テキストを読むこと」を大前提として、著者の意図をしっかりと掴んだ上で、クリティカル・シンキングを用いて論考を進めることを心がけて学習していただきたい。

食物学概論（テキスト）

担当教員：中川　裕子

１年次～　選択２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

わたしたちは、毎日の食事から栄養成分を摂取することで、生命を保ち、生活活動を営んでいる。それゆえ毎日の食事の内容は、健康と深いかかわりをもつ。本科目では、健康で豊かな食生活を営むための食物全般の基礎的・基本的な知識を学び、科学技術の進歩や情報化の進展に対応できる力を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　食物ＤＰ1　食科ＤＰ1

到達目標

１．栄養、食品、調理といった食物学全般の基礎知識を学習して健康と食事のかかわりを理解する。
２．健康を考えた賢い食生活を実践するように指導できる。

学習の進め方

1. テキストの章ごとに学習を進める。難解な部分は、参考文献を参照する。
2. リポートの課題を確認し、アドバイスにも注目して課題に沿ったリポートを作成する。
3. 科目修了試験に向け、基礎的な知識を正確に覚える。食品成分表の資料編など食物領域に関しての記載がまとまっている参考文献を活用すると良い。食生活全般の知識の習得に努める。
4. 家庭科の免許取得を目指している場合は、中学・高校の家庭科の食生活分野の領域を見て学習すべき内容を把握する。

内容

1. 第１章　栄養に関する基礎知識＜栄養素の役割・炭水化物・脂質・たんぱく質＞
2. 第１章　栄養に関する基礎知識＜ミネラル・ビタミン・水分＞
3. 第１章　栄養に関する基礎知識＜栄養素の消化・吸収と代謝＞
4. 第2章 健やかな食生活を営むための基礎知識＜食事摂取基準・健康づくり・献立作成＞
5. 第2章　健やかな食生活を営むための基礎知識＜食品の表示とその購入：食品表示の必要性～栄養成分表示＞
6. 第2章　健やかな食生活を営むための基礎知識＜食品の表示とその購入：食品添加物～放射性物質＞
7. 第２章　健やかな食生活を営むための基礎知識＜調理の基本＞
8. 第３章　日本の食生活の変遷＜日本型食生活・欧米型食生活＞
9. 第３章　日本の食生活の変遷＜食生活の現状＞
10. 第３章　日本の食生活の変遷＜食生活の改善＞
11. 第４章　ライフステージと食生活＜妊娠期・授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期＞
12. 第４章　ライフステージと食生活＜成人期・高齢期＞
13. 第５章　食事と生活習慣病＜メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧症、糖尿病＞
14. 第５章　食事と生活習慣病＜脂質異常症・動脈硬化症・骨粗鬆症＞
15. まとめ

テキスト・参考書

①テキスト　食生活 - 健康に暮らすために -［第 4 版］　市川朝子、下坂智惠編著 八千代出版株式会社　2025、学習の手引き

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　『リポート課題集』参照

成績評価

①リポート　全体を 100 として課題の理解 40%、「ねらい」「アドバイス」の活用 20%、学生自身の学習効果 20%、リポートとしての完成度 20%として評価する。

②科目修了試験

配点は１問平均 35 点で配分し、合計点で評価する。問題を選択するよう求めている場合は、すべてに解答したときには不合格とすることがある。論述式の問題では、基礎的・基本的な知識の正確性に欠けているときには大きく減点する。

その他

リポートは原則どおり 2,000 字程度を求めている。図や表を除いて文章部分で 2000 字程度は書いてほしい。

衣生活学概論（テキスト）

担当教員：柿原　文子

１年次～　選択２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

生活の中の衣服を取り上げ、衣服と生活、素材、構成、着心地、管理・染色加工、品質表示について学習し、衣生活の正しい知識を得ることにより、豊かな生活の実現を目指す。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　食物ＤＰ1　食科ＤＰ1

到達目標

1. 衣服と生活について、衣服の役割、変遷、類型、装いの意識について理解する。
2. 衣服の素材について、繊維、糸、布およびその性能について理解する。
3. 衣服の構成について、デザイン、設計、生産についておよび、ライフスタイルと衣服、品質表示ついて理解する。
4. 衣服の着心地について、衣環境と着心地について理解する。
5. 衣服の管理・染色加工について、洗濯、保管、染色、仕上げ加工について理解する。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進めた後、リポート課題を確認し、テキストおよび参考文献で改めて学習した後、下書きを作成する。リポート課題との適合性や誤字脱字等を確認した後、リポートを清書し、提出する。リポート合格の場合は科目修了試験に向けて、テキストを中心に学習する。不合格の場合は添削コメントを参考に改めてテキストを学習した後、リポートを再提出する。科目修了試験が不合格の場合は、自分の弱点を再確認し、難しかった問題、部分を中心に改めてテキスト全体を復習する。

内容

1. 衣服の始まりと役割
2. 衣生活の変化
3. 装いの意識
4. 衣服の素材(1)繊維、糸、布
5. 衣服の素材(2)性能、新しい素材
6. 衣服の構成(1)衣服の製作・製造
7. 衣服の構成(2)衣服のサイズシステム
8. 着装行動と流行
9. 衣服の購入、廃棄とリサイクル
10. 衣服の着心地(1)衣環境、衣服と体温調節
11. 衣服の着心地(2)着心地のよい衣服、環境とデザイン、機能
12. 衣服の管理(1)衣服の汚れ、洗濯
13. 衣服の管理(2)仕上げ、保管
14. 染色加工　精錬、漂白、染色、仕上げ加工
15. 品質表示

テキスト・参考書

①テキスト　衣生活論　持続可能な消費と生産　編著：山口庸子／生野晴美　アイ・ケイコーポレーション　2019

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　関係の図書（自分が読みやすい本を参考にすると良い）

成績評価

①リポート

自分自身の言葉でわかりやすく書けているかが最大のポイントです。それにより、読み手は内容を理解されているかどうかがわかります。以下の点にも注意してください。

1. リポート内容が課題に即して記述され、テキストや参考文献をそのまま書き写しているだけではなく、課題に合うようにまとめているか。
2. 文章の読みやすさ、誤字脱字が無いかどうか。
3. テキストや参考文献の引用の仕方が適切であるか。

以上を総合的に評価する。

②科目修了試験

1. 問題数に応じて配点を行う。
2. 評価基準は、問題として要求している内容が正確に記載されているかどうかにつき、記述内容の適切さ、理解度、説明力から総合的に評価する。
3. 1 問でも無回答の場合、0 点の場合、一部でも正しく無い記載がある場合は、不合格とすることもある。

その他

リポートを作成するときは、勉強したことをただ記述するのではなく、それらをリポート課題に合うようにまとめる工夫が大切である。なお、テキストだけでは不十分なので、様々な文献・図書・資料を活用して勉強してください。参考文献や引用文献は必ず明記してください。

住居学概論（テキスト）

担当教員：浅見　美穂

１年次～　選択２単位　　〖二級建築士・木造建築士〗　　テキスト科目／2026 年度

概要

生活の拠点である住居と住環境について様々な角度から学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　食物ＤＰ1　食科ＤＰ1

到達目標

①住居・住環境について歴史・文化、家族・生活、工学・技術、社会と関連づけて総合的な知識を習得する。
②平面図の製図法を修得し、住生活向上のための基本的な知識に基づいた客観的な分析力を修得する。

学習の進め方

1. テキストの内容について学習する。
2. リポート課題について確認する。テキストに基づき学習するとともに必ず参考文献などの書籍をあたり、十分に理解した上で指定の用紙によりリポートを作成する。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けて下記［科目修了試験による成績評価］を参考にテキスト全般について学習する。リポート不合格の場合は添削コメントを参考に改めてテキスト・参考文献をあたり、リポート再作成し提出する。
4. 科目修了試験不合格となった場合は、改めてテキスト全体を復習し、次回の科目修了試験に備える。

内容

1. 住居の歴史(1)西洋住宅の展開
2. 住居の歴史(2)日本住宅の伝統・近代住宅の成立
3. 生活と住居(1)住生活（個人・家族の生活）
4. 生活と住居(2)住生活（地域生活）
5. 生活と住居(3)住居の管理
6. 生活と住居(4)防災と安全
7. 住居の計画と設計(1)住居の計画
8. 住居の計画と設計(2)住居の設計
9. 住居の計画と設計(3)住居の意匠
10. 住居の環境と設備(1)熱・光
11. 住居の環境と設備(2)音・空気・水
12. 住居の構造(1)住居の安全
13. 住居の構造(2)構造システムと材料
14. 住居と福祉環境(1)住宅問題と政策
15. 住居と福祉環境(2)福祉と住居・まちづくり

テキスト・参考書

①テキスト　シリーズ＜生活科学＞住居学　朝倉書店　2003　　**テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**

②参考書　①生活と住居　ひとりひとりが暮らしを考える　薬袋奈美子・浅見美穂　編著　彰国社　2026
②少子高齢時代の都市住宅学　広原盛明　ミネルヴァ書房 2002
③生活空間論　小川信子ほか　光生館　1999

成績評価

①リポート　全体を 100 として、「ねらい」「アドバイス」を踏まえた課題に対する理解 50%、課題の理解に基づく考察 50%として評価する。

②科目修了試験　住居・住環境に関する知識の習得について確認する問題３問(各 20 点)、知識に基づいた考察を記述する問題１問（40 点）を出題する。合計点で評価するが、記述問題が０点となった場合は不合格とする。

その他

リポート作成にあたっては、テキストや参考文献などの書籍から得た情報を自分で理解・整理し、文献等の抜き書きとならないようにすること。また、考察部分の記述については、客観性を持ったリポートとなるよう注意すること。平面図の描き方については、参考文献「生活と住居」（住生活学テキスト）を参照し、製図法に則って作成すること。

住居学概論（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：青木　賀津子

１年次～　選択２単位　〖二級建築士・木造建築士〗　スクーリング科目／2026 年度

概要

生活の拠点である住居と住環境について様々な角度から学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用）】
講義動画を視聴する。小テストやリポートは期限内の提出が必須である。

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　食物ＤＰ1　食科ＤＰ1

到達目標

①住居・住環境について歴史・文化、家族・生活、工学・技術、社会と関連づけて総合的な知識を習得する。
②平面図の製図法を修得し、住生活向上のための基本的な知識に基づいた客観的な分析力を修得する。

授業計画

manaba にガイダンスやコースニュースにて各提出期限日時を事前通知
各回 manaba より講義動画視聴後に小テストやレポート提出

1. 住居の歴史(1)西洋住宅の展開	
2. 住居の歴史(2)日本住宅の伝統・近代住宅の成立	
3. 生活と住居(1)住生活（個人・家族の生活）	
4. 生活と住居(2)住生活（地域生活）	
5. 生活と住居(3)住居の管理	
6. 生活と住居(4)防災と安全	１回目の提出（1～4 章、課題①）
7. 住居の計画と設計(1)住居の計画	
8. 住居の計画と設計(2)住居の設計	２回目の提出（5～6 章）
9. 住居の計画と設計(3)住居の意匠	
10. 住居の環境と設備(1)熱・光	３回目の提出（7～9 章）
11. 住居の環境と設備(2)音・空気・水	
12. 住居の構造（住居の安全　構造システムと材料）	４回目の提出（10～11 章）
13. 住居と福祉環境(1)住宅問題と政策	
14. 住居と福祉環境(2)福祉と住居・まちづくり	５回目の提出（12～14 章）
15. まとめ	６回目の提出（課題②）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
授業初日までに必ず manaba を確認し、教科書を読んでおくこと（３時間程度の予習）。
事前課題　特になし

②使用教科書　シリーズ＜生活科学＞住居学　朝倉書店　2003

③参考書　①生活と住居　ひとりひとりが暮らしを考える　薬袋奈美子・浅見美穂　編著　彰国社　2026
②少子高齢時代の都市住宅学　広原盛明　ミネルヴァ書房 2002
③生活空間論　小川信子ほか　光生館　1999

④持参（準備）するもの　平面図を描くための用紙（方眼紙も可）、定規など。

⑤成績評価　授業では講義動画視聴後の小テストやレポートを予定している（提出期限あり）。住居・住環境に関する知識、平面図の描き方の習得について確認する課題、知識に基づいた考察を記述する課題などの合計点で評価する。一つでも未提出があれば不合格とする。合格ライン（60 点相当）に満たない課題は再提出を課す場合がある。

⑥学生へのメッセージ　住居学概論で学ぶ範囲は広いため、他の住居学系科目の内容と関連付けて学ぶと理解が深まる。平面図の描き方は、「生活と住居」（住生活学テキスト）を参照し、製図法に則って作図すること。到達目標はテキスト科目と同様であるので、小テストや各課題が、テキスト科目のリポート課題や科目修了試験に相当すると考え、どの課題もしっかり取り組んでほしい。

⑦追試験　対象科目

特記事項　テキスト科目「住居学概論」と同時登録は不可である。人数制限がある（受講者数 100 名までとする）ので注意すること。

家庭管理概論（テキスト）

担当教員：天野　晴子・増茂　智子

１年次～　選択２単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

「家庭管理概論」では、家庭管理領域を人間の生命と労働力の再生産構造ととらえる。家庭管理は短期の生活を対象にするのみでなく、個人的レベルから社会保障、就労の確保、生活環境など、生活設計の社会性・連帯性とともに、新しい生活様式の創造へ連なることを理解する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　食物ＤＰ1　食科ＤＰ1

到達目標

①家庭管理領域を二重の領域としてとらえる意味を、具体的な課題にそくして説明できる。
②家計、家事労働、生活時間等の各領域に関する専門用語やデータの扱い方を理解し、これらを活用して分析することができる。
③現代の生活課題を発見し、構造を把握し、問題解決への提言を示すことができる。

学習の進め方

テキストを熟読した後、リポート課題に着手し、参考文献にもあたりながら、リポートを作成する。課題１はテキスト全体及び「学習の手引」をあわせて読み、課題２は第４章及び第５章を中心に検討する。科目修了試験にむけてはテキスト全体及び「学習の手引」をよく理解しておくこと。

内容

1. 生活経済・経営から考える家庭管理論とは
2. 家庭生活の構造と家庭管理論の対象領域
3. 資本主義における生産と消費生活の単位
4. 家族・世帯・ライフコース
5. 労働環境の現状と企業の社会的責任
6. 家計収入・支出の構造にみるジェンダー
7. 家計の所得格差・貧困と所得再分配
8. 社会保障と最低生活保障
9. 資産形成の変化と金融教育の高まり
10. アンペイドワークとワーク・ライフ・バランス
11. 福祉社会における生活の社会化と生活経済
12. 持続可能な社会に向けた生活様式の創造
13. ワーク＆ライフキャリアと生活経済
14. 持続可能な生活と社会の創造
15. まとめ

テキスト・参考書

①テキスト　ジェンダーで学ぶ生活経済論 【第３版】　伊藤純・斎藤悦子　ミネルヴァ書房　2021、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書　①持続可能な社会をつくる生活経営学　（一社）日本家政学会生活経営学部会編　朝倉書店　2020
②新版 家庭管理論　宮崎礼子編　有斐閣　1989

成績評価

①リポート　全体を 100 として、課題の理解 20%、「ねらい」「アドバイス」の活用 20%、学生自身の学習成果 40%、リポートとしての完成度 20%を目安として評価する。

②科目修了試験　論述形式の出題とし、基礎知識 40%、理解度 30%、論理的思考力 20%、記述力 10%を目安として評価する。

生活芸術学科科目／関連科目：中学校・高等学校一種免許状〈教科に関する科目〉

生芸-５６

家族関係論（テキスト）

担当教員：金山　裕介

１年次～　選択２単位

テキスト科目／2026 年度

概要

家族とは何でしょうか。家族を学問的に定義することは、大変難しい問題をはらんでいます。家族関係論を学ぶ第一の意義は、家族のあり方が大きく変容する現代において、常識や先入観にとらわれずに客観的かつ主体的に家族を把握するための視点を身につけることにあります。そのため、テキストに即して、主として家族社会学の立場から家族を理解する視点を学んでいきます。また、家族関係論を生きた学問として学ぶためには、関連する様々な分野の知見を幅広く吸収しながら総合的に学ぶ必要があります。この学びを、家族について自ら疑問を持ち探索していく出発点としてください。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸 DP１　食物 DP１　食科 DP１

到達目標

①家族を客観的に見る力を身につけ、家族問題にどのように関わっていくかについての指針を得る
②家族関係の学問的認識を深めることによって、家族をより豊かに生きていくことができるようになる
③現実に葛藤や悩みを抱えて苦しんでいる家族を支援していく専門的な知識や技法を身につける

学習の進め方

テキストを読み、家族を捉えるこれまでの知見を学んでください。そして、参考書を通して現代の多様な家族が抱える問題について理解を深めてください。必要に応じて最新の政府統計を参照したり、各自が家族に関係する参考書を参照することで、より理解を深めることができるでしょう。科目修了試験に向けては、リポートの基礎知識で取り上げられた現代家族の課題について、自らの意見を述べられるように準備してください。

内容

1. 家族をどうとらえるか
2. 家族分析の手がかり―類型と分類
3. 青年期の異性交際
4. 配偶者の選択
5. 結婚の意味と機能
6. 離婚、その後
7. ライフサイクル
8. 家族の危機
9. 家族の役割構造、勢力構造、情緒構造
10. 子どもの養育と社会化
11. 老親の扶養
12. 家族と社会ネットワーク
13. 家族形態の変化
14. 家族機能の変化
15 家族のゆくえ

テキスト・参考書

①テキスト

新しい家族社会学（四訂版）　森岡清美・望月嵩　培風館　1997、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

三訂 新しい家族関係学　長津美代子・小澤千穂子(編)　建帛社　2023
家族社会学事典　日本家族社会学会(編)　丸善出版　2023
問いからはじめる家族社会学〔改訂版〕　岩間暁子, 大和礼子, 田間 泰子　有斐閣　2022
家族心理学 第２版　中釜洋子，野末武義，布柴靖枝，無藤清子(編)　有斐閣　2019

成績評価

①リポート

基礎知識の説明と論述課題：基礎知識を理解し、適切に説明している（50）、論理的な構成と明確な根拠に基づいた考察をしている（30）、既存の知識や情報を批判的に吟味し、独自の視点で考察をしている（20）

②科目修了試験

論述課題：論理的な構成と明確な根拠に基づいた考察をしている（60）、既存の知識や情報を批判的に吟味し、独自の視点で考察をしている（40）

調理基礎（テキスト）

担当教員：髙橋　敦子

１年次～　選択１単位　　テキスト科目／2026 年度

概要

調理基礎では、調理の目的を食品、栄養、安全、嗜好、食文化の面から科学的に捉えることを学ぶ。食品の性質については、調理による食品成分の変化、食味への影響を理解する。調理の種類と基本操作においては、加熱操作、非加熱操作、調味の方法について理解する。また、加熱調理機器の基本構造についても触れ、適切な取り扱いが出来るようにする。調味については、味の対比効果、相乗効果、味の浸透・拡散、温度と味覚との関係を取り上げ、調味料の組み合わせ、量と入れる時期、順序などと、味とテクスチャーとの関係について取り上げる。日本料理、西洋料理の主な特徴を学習するとともに、代表的な献立や料理を理解し、献立作成がスムーズにできる能力を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ1　食物ＤＰ1　食科ＤＰ1

到達目標

中学校、高校の家庭科で、日常よく用いられる食品を取り上げて、生徒に基本的な調理操作を習得させ、また日常生活で実践できる能力を養うための指導力を身につける。

学習の進め方

1. テキストの章ごとに学習を進める。
2. その章に該当する中学校・高校で使用している家庭科教科書と指導要領とをよく読み、理解する。各章の参考文献を調べる。
3. リポートの課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・教科書・参考文献に基づき学習する。
4. リポートの下書きを作成し、テキスト、家庭科の教科書、参考文献との整合性等を確認する。清書したリポートを提出する。
5. リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキストで、勉強する。リポート不合格の場合は改めてテキスト、家庭科の教科書、参考文献にあたったうえでリポートを作成し、提出する。
6. 科目修了試験に向けてテキストの内容をよく理解するとともに、日本料理・西洋料理の献立の立て方について学習する。
7. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。

内容

1. 調理の基礎
   - 調理の目的、調理法・味の基本、調味の仕方を体得する。
   - 献立の立て方について、作成の目的に合わせ作成すること。
2. 日本料理とは
   - 日本料理の歴史的背景を知るとともに、本膳料理・懐石料理・会席料理の違い、献立形式、配膳の仕方を体得する。
3. 生もの料理・和え物料理（日本料理）
   - 生もの料理の特徴と種類を知り、器への盛り付け方を学ぶ。
   - 魚のおろし方を体得し、様々な調理法があることを学ぶ。
   - 和え物の特徴と調理上の注意点を知り、調味料の割合や盛り付け方について考える。
4. 汁もの料理・焼き物料理（日本料理）
   - 汁ものの種類と出汁のとり方、みその種類と塩分量、椀の盛り方を学ぶ。
   - 汁ものの調理法には、様々な調理法があることを学ぶ。
   - 焼き物の種類、盛り付け方、様々な調理法について学ぶ。
5. 蒸し物料理・揚げ物料理（日本料理）
   - 蒸し物料理の特徴を捉え、その注意点をしっかりと体得する。
   - 揚げ物料理の特徴・揚げ物料理の温度管理・注意点・盛り付け方を学び、それぞれの特徴ある調理法を学ぶ。
6. 煮物料理・ご飯物料理（日本料理）

・煮物料理の特徴、種類、注意点、盛り付け方を学ぶ。
・ご飯の炊き方、水加減、味付けの仕方、すし飯について学ぶ。
・それぞれの料理の特徴ある調理法を学ぶ。

7. 練り物・寄せ物料理・菓子・茶
・寒天・ゼラチン・カラギーナン・くずのそれぞれの特徴を知るとともに、その扱い方について体得すること。
・菓子の種類や歴史的背景を考え、様々な和菓子の作り方を学ぶ。
・茶の種類や茶の入れ方を体得すること。

8. 行事食
・行事食についてその歴史やいわれ等を学ぶとともに、自分の住んでいる地域の特徴ある行事食について調べてみる。

9. 中国料理について
・中国料理の特徴と献立構成、供食の仕方を学ぶ。
・中国料理の手法は、日本料理と同じものもあれば、まったく異なるものもある。その違いについて調べてみる。
・点心の特徴、種類、その調理方法を学ぶ。

10. 西洋料理について
・西洋料理の特徴、献立形成、供食の仕方を学ぶ。
・西洋料理の手法は、日本料理と同じものもあれば、まったく異なるものもある。その違いについて調べてみる。
・スープやソースの素となる出汁のとり方、その種類、ソースの意味や分類の仕方について学ぶ。

11. 肉料理・魚料理・卵料理
・肉や魚の種類や部位による処理方法、調理法について学ぶ。
・香辛料の種類や特徴、香辛料の効果的な使い方について学ぶ。
・卵料理についてその特徴、種類、調理法について学ぶ。
・料理法や素材に合わせたソースの使い方について考える。

12. 野菜料理・穀物料理・サンドイッチと飲み物
・サラダの種類・注意点、調理方法について学ぶ。
・サンドイッチの種類・特徴と作るときの注意点について学ぶ。
・穀物料理の種類や調理方法について学ぶ。
・紅茶やコーヒーの種類、入れ方について体得する。

13. デザート
・デザートの種類やそれに伴うソースの選び方について学ぶ。
・基本的な焼き菓子や冷菓の作り方や注意点を体得する。

14. 高齢者と障がい者・乳幼児の献立
・今まで学習してきた調理法や食材の扱い方を基に、高齢者や障がい者、乳幼児の食の特徴を考えながら、献立作りをする。
・どのような供食の仕方をしたら食のQOLを高めるか、考える。

15. 中学校家庭科指導要領に沿った授業づくり
・中学校家庭科の教科書・指導要領を熟読する。
・中学生にとってわかりやすく、安全な調理実習とはどのような授業構成にしたらよいか、調理実習の指導案を考える。
・限られた時間内で、効率よく調理実習を行うときの注意点・工夫の仕方、供食・後片付けの仕方について考える。

テキスト・参考書

①テキスト

新編　あすの健康と調理　―食生活の彩理を豊かに―　　飯田文子　松月弘恵編著　アイ・ケイコーポレイション、
学習の手引

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

中学校・高校家庭科教科書　文部科学省中学校・高等学校学習指導要領解説　家庭編

成績評価

①リポート

全体の評価を100として、課題の理解50%、学生自身の学習成果25%、リポートとしての完成度25%　として評価する。

②科目修了試験

各設問20点および30点で配分し、合計点で評価するが、1問でも0点となった場合は不合格とすることがある。

生活芸術学科／関連科目：中学校・高等学校一種免許状〈教科に関する科目〉

生芸-５８(1)

調理基礎実習（夏期スクーリング）

担当教員：髙橋　敦子

２年次～　選択１単位

スクーリング科目／2026 年度

概要

日常食の調理の基礎として、調理の目的、調理方法、味の基本、献立とその立て方、日常食の供食等の学習を通し、簡単な日常食を整えることができるように、基礎的な調理実習を行う。そのため、魚や肉、野菜などを中心に日常よくもちいられる食品を取り上げて基礎的な調理操作を習得し、日常食にふさわしい食事について理解を深め、日常生活で実践するための指導方法について学習したうえで、これらのことを、理論づけて説明できるようにする。また、調理実習を通して、調理の手順や時間を考えて、計画を立てて行うこと、調理後の後始末や実習後の評価についても指導の一環として学習する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ5　食物ＤＰ4　食科ＤＰ4

到達目標

食品の選択と日常食の調理の基礎について、食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択するための指導ができるようにする。また、基本的な日本料理、西洋料理の献立を理解し、簡単な調理ができ、食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理について指導ができるようにする。

授業計画

1. 日本料理基礎１　日本料理とは
2. 日本料理基礎２　焼き物料理
3. 日本料理基礎３　汁物料理　以上第１日
4. 日本料理基礎４　煮物料理
5. 日本料理基礎５　和え物料理
6. 日本料理基礎６　菓子・茶　以上第２日
7. 中国料理基礎１　中国料理とは
8. 中国料理基礎２　前菜・大菜・点心　以上第３日
9. 西洋料理基礎１　西洋料理とは
10. 西洋料理基礎２　スープ料理
11. 西洋料理基礎３　肉料理　　以上第４日
12. 西洋料理基礎４　各国料理
13. 西洋料理基礎５　野菜料理
14. 西洋料理基礎６　デザート　以上第５日
15. まとめ、今後の学習に向けての助言 第６日

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書の内容を理解するとともに、特に実習を行う料理については実習がスムーズに行えるように学修しておく。1 回の授業につき最低１時間。

②使用教科書

2023 年度入学者まで：調理学実習　高増雅子　群羊社（現在非売品）

2024 年度以降の入学者：新編　あすの健康と調理　―食生活の彩りを豊かに―　　飯田文子　松月弘恵編著　アイ・ケイコーポレイション、「調理基礎」の学習の手引（通信教育課で販売）

③参考書

主に中学校(高校)の家庭科教科書、学習指導要領

④持参（準備）するもの

テキスト・学習の手引・初日より、調理実習ができるようエプロン・三角巾・上履き（スリッパは不可）を持参すること

⑤成績評価

スクーリング最終日の筆記試験(1 時間）70%、実習の評価 30%

⑥学生へのメッセージ

教科書、家庭科教科書・学習指導要領等を事前に読んでおくこと

⑦追試験

対象外科目

特記事項　受講者数を 40 名までとする。登録時に「調理基礎」を修得済又は前年度末までにリポート合格済であること。

生活芸術学科／関連科目：中学校・高等学校一種免許状〈教科に関する科目〉

生芸-５８(2)

調理基礎実習（後期土曜スクーリング）

担当教員：髙橋　敦子

２年次～　選択１単位

スクーリング科目／2026 年度

概要

日常食の調理の基礎として、調理の目的、調理方法、味の基本、献立とその立て方、日常食の供食等の学習を通し、簡単な日常食を整えることができるように、基礎的な調理実習を行う。そのため、魚や肉、野菜などを中心に日常よくもちいられる食品を取り上げて基礎的な調理操作を習得し、日常食にふさわしい食事について理解を深め、日常生活で実践するための指導方法について学習したうえで、これらのことを、理論づけて説明できるようにする。また、調理実習を通して、調理の手順や時間を考えて、計画を立てて行うこと、調理後の後始末や実習後の評価についても指導の一環として学習する。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ5　食物ＤＰ４　食科ＤＰ4

到達目標

食品の選択と日常食の調理の基礎について、食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択するための指導ができるようにする。また、基本的な日本料理、西洋料理の献立を理解し、簡単な調理ができ、食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理について指導ができるようにする。

授業計画

イントロダクション：授業の進め方（manaba に事前掲示）

1. 日本料理基礎１　日本料理とは
2. 日本料理基礎２　焼き物料理
3. 日本料理基礎３　汁物料理　以上第１日
4. 日本料理基礎４　煮物料理
5. 日本料理基礎５　和え物料理
6. 日本料理基礎６　菓子・茶　以上第２日
7. 中国料理基礎１　中国料理とは
8. 中国料理基礎２　前菜・大菜・点心　以上第３日
9. 西洋料理基礎１　西洋料理とは
10. 西洋料理基礎２　スープ料理
11. 西洋料理基礎３　肉料理　　以上第４日
12. 西洋料理基礎４　各国料理
13. 西洋料理基礎５　野菜料理
14. 西洋料理基礎６　デザート　以上第５日
15. まとめ、今後の学習に向けての助言 第６日

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書の内容を理解するとともに、特に実習を行う料理については実習がスムーズに行えるように学修しておく。1 回の授業につき最低１時間。

②使用教科書

2023 年度入学者まで：調理学実習　高増雅子　群羊社（現在非売品）

2024 年度以降の入学者：新編　あすの健康と調理　―食生活の彩りを豊かに―　　飯田文子　松月弘恵編著　アイ・ケイコーポレイション、「調理基礎」の学習の手引（通信教育課で販売）

③参考書

主に中学校(高校)の家庭科教科書、学習指導要領

④持参（準備）するもの

教科書、初日より自宅で調理実習ができるようエプロン・三角巾を準備すること

⑤成績評価

スクーリング最終日の筆記試験(1 時間)50%、毎回のレポート評価 50%

⑥学生へのメッセージ

教科書、家庭科教科書・学習指導要領等を事前に読んでおくこと

⑦追試験

対象外科目

特記事項

登録時に「調理基礎」を修得済又は前年度末までにリポート合格済であること

調理基礎実習（集中スクーリング）

担当教員：髙橋　敦子

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

日常食の調理の基礎として、調理の目的、調理方法、味の基本、献立とその立て方、日常食の供食等の学習を通し、簡単な日常食を整えることができるように、基礎的な調理実習を行う。そのため、魚や肉、野菜などを中心に日常よくもちいられる食品を取り上げて基礎的な調理操作を習得し、日常食にふさわしい食事について理解を深め、日常生活で実践するための指導方法について学習したうえで、これらのことを、理論づけて説明できるようにする。また、調理実習を通して、調理の手順や時間を考えて、計画を立てて行うこと、調理後の後始末や実習後の評価についても指導の一環として学習する。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ5　食物ＤＰ４　食科ＤＰ4

到達目標

食品の選択と日常食の調理の基礎について、食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択するための指導ができるようにする。また、基本的な日本料理、西洋料理の献立を理解し、簡単な調理ができ、食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理について指導ができるようにする。

授業計画

イントロダクション：授業の進め方（manaba に事前掲示）

1. 日本料理基礎１　日本料理とは
2. 日本料理基礎２　焼き物料理
3. 日本料理基礎３　汁物料理
4. 日本料理基礎４　煮物料理
5. 日本料理基礎５　和え物料理
6. 日本料理基礎６　菓子・茶　以上第１日
7. 西洋料理基礎１　西洋料理とは
8. 西洋料理基礎２　スープ料理
9. 西洋料理基礎３　肉料理
10. 西洋料理基礎４　各国料理
11. 西洋料理基礎５　野菜料理
12. 西洋料理基礎６　デザート　以上第２日
13. 中国料理基礎１　中国料理とは
14. 中国料理基礎２　前菜・大菜・点心　以上第３日
15. まとめ　第４日

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書の内容を理解するとともに、特に実習を行う料理については実習がスムーズに行えるように学修しておく。1 回の授業につき最低２時間。

②使用教科書

2023 年度入学者まで：調理学実習　高増雅子　群羊社（現在非売品）

2024 年度以降の入学者：新編　あすの健康と調理　―食生活の彩りを豊かに―　　飯田文子　松月弘恵編著　アイ・ケイコーポレイション、「調理基礎」の学習の手引（通信教育課で販売）

③参考書

主に中学校(高校)の家庭科教科書、学習指導要領

④持参（準備）するもの

教科書、エプロン、三角巾を準備すること

⑤成績評価

スクーリング最終日のオンライン筆記試験(時間指定　1 時間)50%、毎回のレポート評価 50%

⑥学生へのメッセージ

教科書、家庭科教科書、学習指導要領等を事前に読んでおくこと

⑦追試験

対象外科目

特記事項

登録時に「調理基礎」を修得済又は前年度末までにリポート合格済であること。

衣服実習（夏期スクーリング）

担当教員：米今　由希子

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

中学校・高校の被服製作分野について、学習指導要領をふまえ教材研究を行うことを目的とする。ショートパンツの製作実習を通じ、被服構成理論の基礎を体感することによって理解を深める。さらに、簡単な縫製技術を身につけることによって、被服製作を指導するうえでの留意点や指導方法についてより深く考察できるようにする。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ5　食物ＤＰ4　食科ＤＰ4

到達目標

１．上衣と下衣の構成について、人体の形態との関連を含め理解することができる
２．被服製作のために必要な縫製技術を習得することができる
３．和裁の基礎、浴衣の構成・着装について理解することができる
４．被服製作の指導について、留意すべき点や指導方法について考察することができる

授業計画

1. 授業概要、用具説明
2. ミシンの練習（以上１日目）
3. 手縫いの練習
4. 人体計測について
5. ショートパンツの製作①　パターン作成
6. ショートパンツの製作②　裁断・印付け（以上２日目）
7. ショートパンツの製作③　本縫い①　ポケット付け、脇縫い、股下縫い（以上３日目）
8. ショートパンツの製作④　本縫い②　股上縫い、ウエストの始末（以上４日目）
9. ショートパンツの製作⑤　本縫い③　仕上げ
10. ショートパンツの製作⑥　ポートフォリオ作成
11. 原型、パターンの作成について
12. シャツの構成と製作の要点
13. 家庭科の教材について（以上５日目）
14. 和裁の基礎知識、浴衣の着装
15. まとめ（以上６日目）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間　被服製作に関する用語や技術を確認し、基礎の手縫いやミシンについて学習しておくこと。約２時間。

②使用教科書　教科書は使用せず、プリントを配付する。

③参考書　楽しくスクールソーイング　一般社団法人 日本家政学会被服構成学部会監修　開隆堂　2012
中学校学習指導要領解説　家庭編
高等学校学習指導要領解説　家庭編

④持参するもの

・ショートパンツ用布地：110㎝幅で2m。綿100%の中肉程度の布地（オックスフォード、ダンガリー、シャンブレー、ソフトデニム、ソフトツイル等。無地又は規則性のない小さい柄物が適する）
・ミシン糸：布地と近い色のシャッペスパン60番
・マーカーペン
・基本的な裁縫用具　持参するもの：縫い針、ピンクッション、糸切りばさみ、チャコペンシル、リッパー、裁ちばさみなど
あると便利なもの：ゴム通し
貸し出し可能なもの：裁ちばさみ、メジャー、定規
貸し出し・配布予定のもの：ルレット、チャコペーパー、しつけ糸、赤白まち針、ボビン、ゴム

⑤成績評価　作品の完成度・技術（60%）、授業での取り組み方（20%）、小テストによる知識・理解（20%）を総合して評価する。

⑥追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を30名までとする

生活芸術学科科目／関連科目：中学校・高等学校一種免許状〈教科に関する科目〉 生芸-５９(2)

衣服実習（後期土曜スクーリング）

担当教員：本多　素子

２年次～　選択１単位　　スクーリング科目／2026 年度

概要

中学校・高校の被服製作分野について、学習指導要領をふまえ教材研究を行うことを目的とする。ショートパンツの製作実習を通じ、被服構成理論の基礎を体感することによって理解を深める。さらに、簡単な縫製技術を身につけることによって、被服製作を指導するうえでの留意点や指導方法についてより深く考察できるようにする。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸ＤＰ5　食物ＤＰ4　食科ＤＰ4

到達目標

１．上衣と下衣の構成について、人体の形態との関連を含め理解することができる
２．被服製作のために必要な縫製技術を習得することができる
３．和裁の基礎、浴衣の構成・着装について理解することができる
４．被服製作の指導について、留意すべき点や指導方法について考察することができる

授業計画

1. 授業概要、用具説明
2. ミシンの練習（以上１日目）
3. 手縫いの練習
4. 人体計測について
5. ショートパンツの製作①　パターン作成
6. ショートパンツの製作②　裁断・印付け（以上２日目）
7. ショートパンツの製作③　本縫い①　ポケット付け、脇縫い、股下縫い（以上３日目）
8. ショートパンツの製作④　本縫い②　股上縫い、ウエストの始末（以上４日目）
9. ショートパンツの製作⑤　本縫い③　仕上げ
10. ショートパンツの製作⑥　ポートフォリオ作成
11. 原型、パターンの作成について
12. シャツの構成と製作の要点
13. 家庭科の教材について（以上５日目）
14. 和裁の基礎知識、浴衣の着装
15. まとめ（以上６日目）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間　被服製作に関する用語や技術を確認し、基礎の手縫いやミシンについて学習しておくこと。約２時間。

②使用教科書　教科書は使用せず、プリントを配付する。

③参考書　楽しくスクールソーイング　一般社団法人 日本家政学会被服構成学部会監修　開隆堂　2012
中学校学習指導要領解説　家庭編
高等学校学習指導要領解説　家庭編

④持参するもの

・ショートパンツ用布地：110cm 幅で 2m。綿 100%の中肉程度の布地（オックスフォード、ダンガリー、シャンブレー、ソフトデニム、ソフトツイル等。無地又は規則性のない小さい柄物が適する。詳細は１日目に説明する。）
・ミシン糸：布地と近い色のシャッペスパン 60 番
・マーカーペン
・基本的な裁縫用具　持参するもの：縫い針、ピンクッション、糸切りばさみ、チャコペンシル、リッパー、裁ちばさみなど
あると便利なもの：ゴム通し
貸し出し可能なもの：裁ちばさみ、メジャー、定規
貸し出し・配布予定のもの：ルレット、チャコペーパー、しつけ糸、赤白まち針、ボビン、ゴム

⑤成績評価　作品の完成度・技術（60%）、授業での取り組み方（20%）、小テストによる知識・理解（20%）を総合して評価する。

⑥追試験　対象外科目

特記事項　受講者数を 30 名までとする